

家計・くらしの調査 年次報告書 2024

2025年8月
日本生活協同組合連合会
政策企画室

もくじ

はじめに	．．．．P 2
1.モニター属性	．．．．P 3
2.収入・支出	．．．．P 4
3.水・光熱費	．．．．P 10
4.消費税しらべ	．．．．P 12
5.2024年モニターから届いた声	．．．．P 13
6.4～11月のプチアンケート（参考）	．．．．P 16
7.集計表	．．．．P 24
8.調査票	．．．．P 25

はじめに

この調査は、1978年「生協の家計簿」発行以来継続してきた「全国生計費調査」の流れを汲みつつ、2018年1月よりインターネットでの回答に限定して調査を実施しています。2024年は調査をインターネット化して7年目の年となります。

2024年の調査では1,300名を超える組合員にモニター登録いただきました。うち新規で登録いただいた方は285名でした。登録モニターには毎月1回、前月分の収入や支出を費目ごとにWebページに入力し、データを日本生協連へ直接送信いただいています。

2024年は、前年に引き続き、円安の影響などにより、食料品や日用品の値上げが家計を圧迫し、くらしのきびしさが増しました。一部の企業において賃上げがみられましたが、それを上回る物価高により、節約を余儀なくされました。また、「令和の米騒動」と呼ばれる米不足による価格高騰が発生しました。

さらに、年始に発生した能登半島地震・豪雨災害、南海トラフ地震臨時情報の発出など、自然災害の脅威にさらされました。世界情勢では、アメリカ大統領選挙でドナルド・トランプ氏が返り咲き、各国の外交や経済政策に影響を及ぼしています。

引き続き、「家計・くらしの調査」を通じて皆さまと共にくらしの変化を捉え、社会に発信してまいります。今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本調査の概要】

1.集計対象

2024年1月から12月まで連続提出いただいた方のデータ927件(有効回答)

2.2024年の特徴

消費者物価指数は前年比2.7%、前々年比6.0%上昇しました。この物価高騰により、食費や日用品費などの生活基盤となる費目で支出が増加しましたが、消費支出全体では昨年より微増という結果に留まり、年間収支は、昨年よりも平均で168,467円増加しました。この結果は、定額減税や光熱費補助の恩恵がある一方、モニターの家計やりくり・節約によるものではないかと考えられます。

(1)収入・支出

2022年からの継続モニター世帯の収入は599,317円（月あたり平均）で、昨年より13,381円高くなりました。給与世帯の平均収入は昨年より3%増加しました。消費支出は370,867円（月平均）で、昨年より1,102円微増しました。この結果、年間収支は昨年より168,467円増加しました。（p4～8参照）※収入の月あたり平均は、年収を12ヵ月で割った金額

(2)水・光熱費

水・光熱費は、1～5月は政府補助の恩恵を受け直近3年間で最も低額となりましたが、政府補助がなくなった期間は最も高額となりました。（p10～11参照）

(3)税・社会保障

消費税の負担額は、昨年より807円（月あたり平均）増加しました。また、消費税を除く税・社会保険料の負担割合は全年代で低くなり、定額減税の効果が表れました。（p7、12参照）

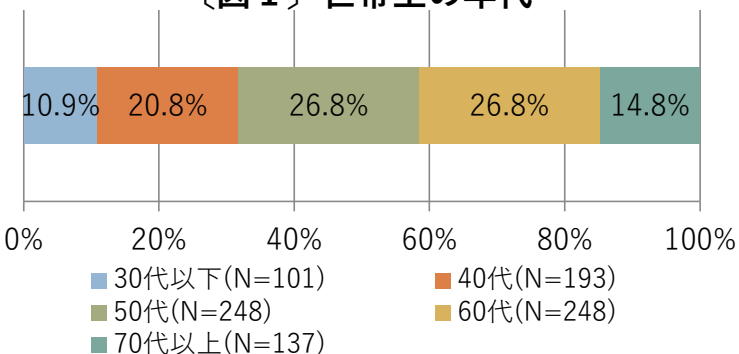
(4)登録モニターの声

モニターからのコメントは、年間で2,777件寄せられました。日々のくらしの出費や特別出費、子育てや介護の大変さなど多岐にわたるコメントの中で、特に、物価高騰による生活のきびしさ、節約、米不足、定額減税に関する声が多く寄せられました。（p13～15参照）

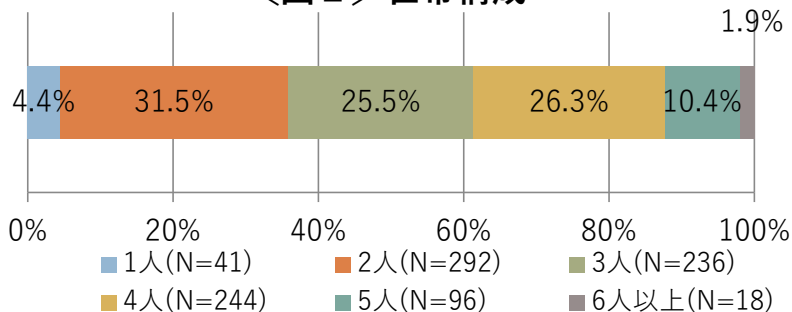
1. モニター属性

世帯構成は2人家族が31.5%と最も多く、4人家族、3人家族と続きました(図2)。子どもの人数は0人が35.2%と最も多く、2人、1人と続きました(図3)。世帯の主な収入は74.5%が「給与」からとなり、「年金」は22.4%でした(図4)。住居形態は戸建(持家)の割合が66.7%と最も多く(図5)、生協の利用業態は宅配が48.2%と多くなっています(図7)。

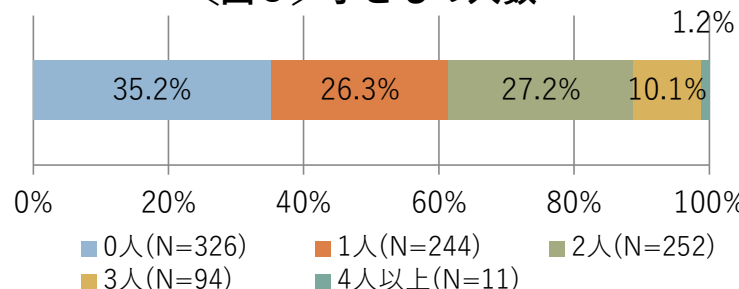
〔図1〕世帯主の年代



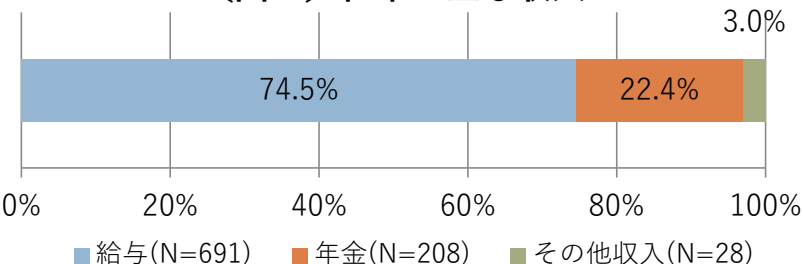
〔図2〕世帯構成



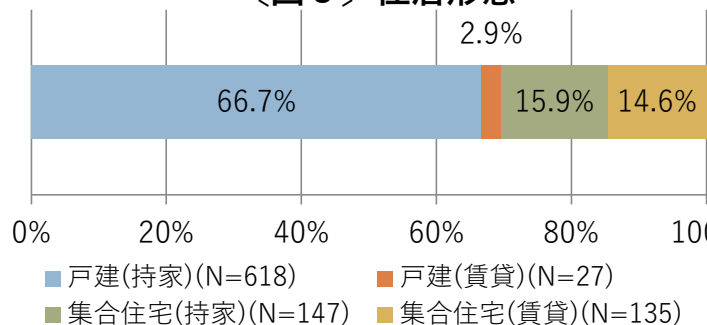
〔図3〕子どもの人数



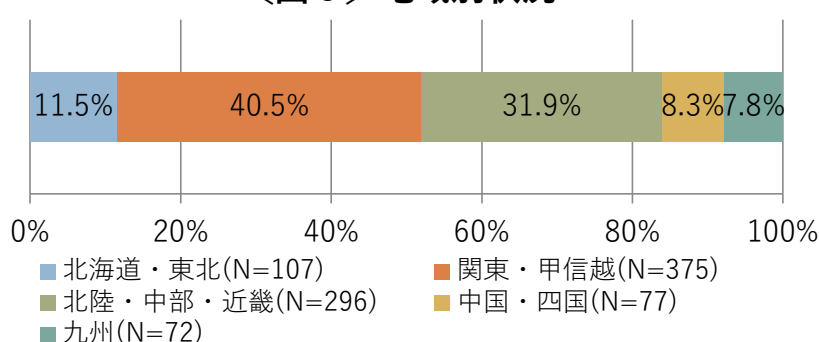
〔図4〕世帯の主な収入



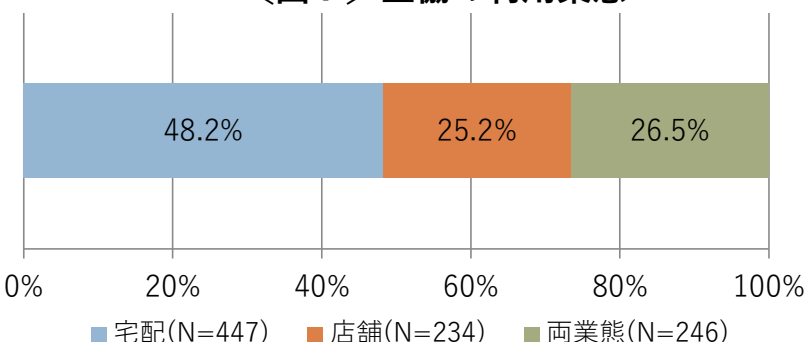
〔図5〕住居形態



〔図6〕地域別状況



〔図7〕生協の利用業態



〔表1〕都道府県別エリア一覧

北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
関東・甲信越	茨城県・群馬県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・長野県・新潟県
北陸・中部・近畿	富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県
中国・四国	岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

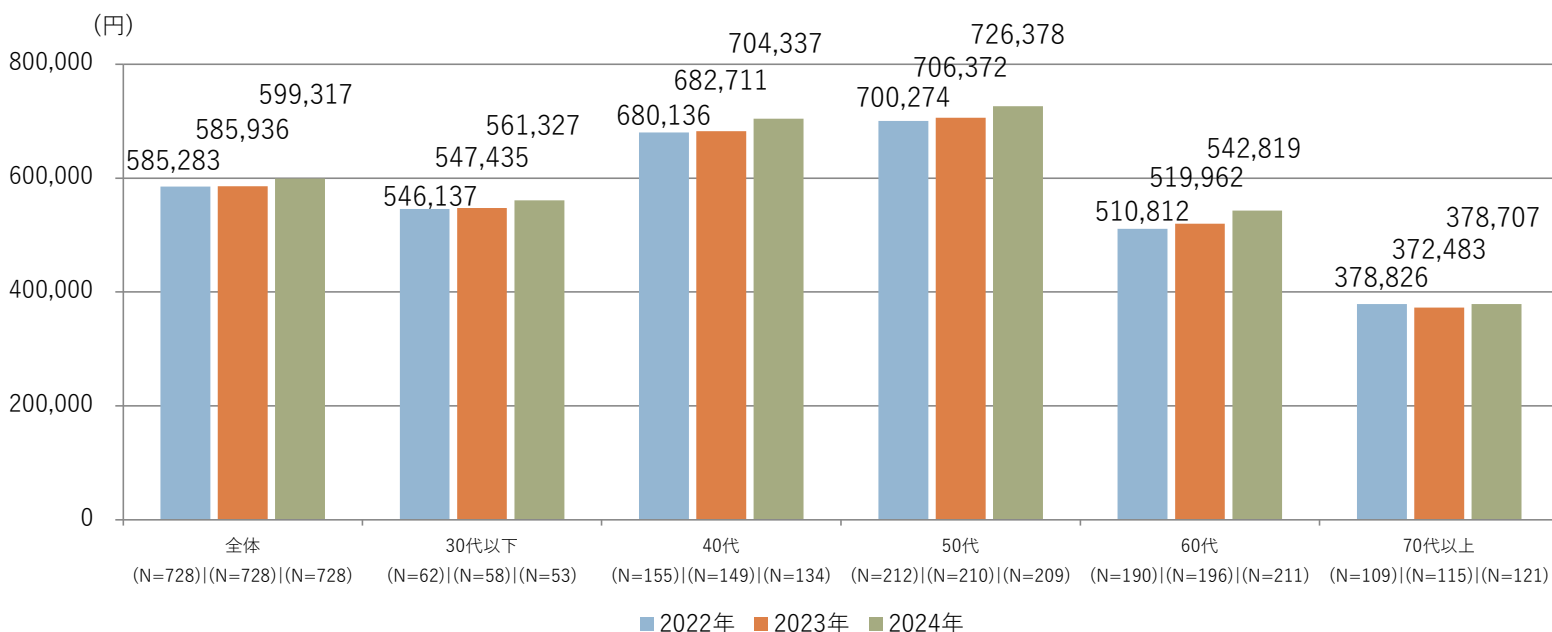
2. 収入・支出

①収入

2022年からの継続モニターの収入について見ました。年代別に3年間比較したところ(図8)、2024年の全体(全年代)の収入の月あたり平均は599,317円で、昨年より13,381円、一昨年より14,034円高い結果となりました。全年代で収入は昨を上回り、特に40代の上昇額は21,626円と最も多くなりました。主な収入別でみると、給与世帯では平均で3%収入が増えました(表2)。また、「世帯主の配偶者」の給料が5%、賞与が13%増えています。年金世帯は、前年度並みの結果でした。

※収入月あたり平均は、年収を12ヵ月で割った金額です。

〔図8〕年代別 収入(月あたり平均)



〔表2〕主な収入別 収入(月あたり平均)・前年比

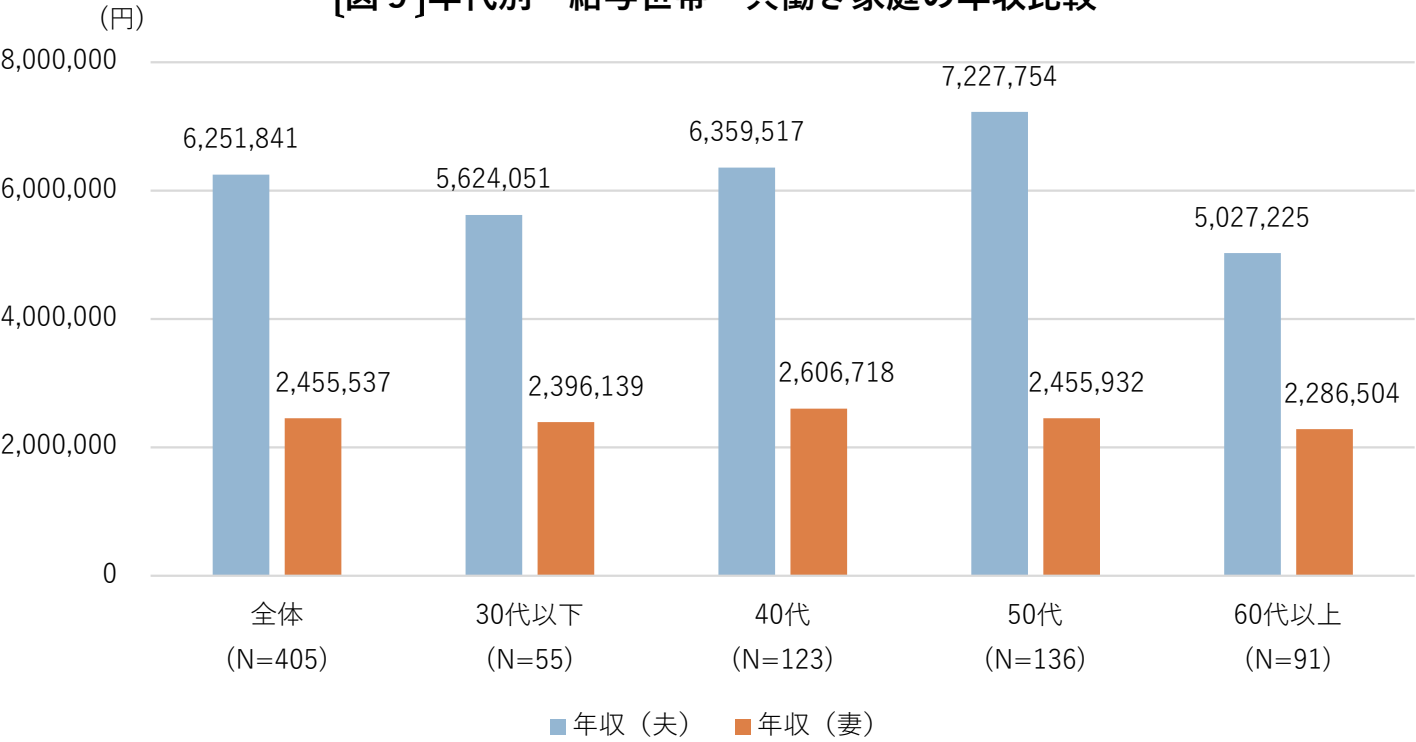
		収入計	給料 (世帯主)	給料 (世帯主の 配偶者)	賞与 (世帯主)	賞与 (世帯主の 配偶者)	年金 (世帯主)	年金 (世帯主の 配偶者)	その他
全体	月平均金額 (円)	599,317	310,757	77,779	68,173	11,615	71,485	19,717	39,791
	前年比増減 率 (%)	2%	0%	2%	2%	10%	8%	10%	8%
給与世帯	月平均金額 (円)	693,438	422,226	101,765	94,543	15,920	23,641	5,604	29,740
	前年比増減 率 (%)	3%	2%	5%	5%	13%	13%	28%	-8%
年金世帯	月平均金額 (円)	351,440	24,853	17,394	—	—	208,039	59,562	39,949
	前年比増減 率 (%)	0%	5%	0%	—	—	0%	-1%	-4%

※「全体」の内訳は、「主な収入が給料の世帯(給与世帯)」「主な収入が年金の世帯(年金世帯)」「主な収入が給料・年金以外の世帯(その他)」と3世帯に分かれます。上表には、給与世帯と年金世帯のみ掲載しています。

さらに、2024年モニターの給与世帯において、世帯主とその配偶者(夫婦)^{※1}がともに働く世帯(正規雇用・非正規雇用含む、年収10万円以上)を年代別にみると、40代以下では夫の年収が妻の年収の倍以上、50代では3倍以上の差がみられました。

※2023年より「夫・妻」の表現を、「世帯主・世帯主の配偶者」に変更しています。
ここでは、世帯主の性別や家族人数などから、夫や妻として抽出し、分析しています。

[図9]年代別 給与世帯 共働き家庭の年収比較



②支出

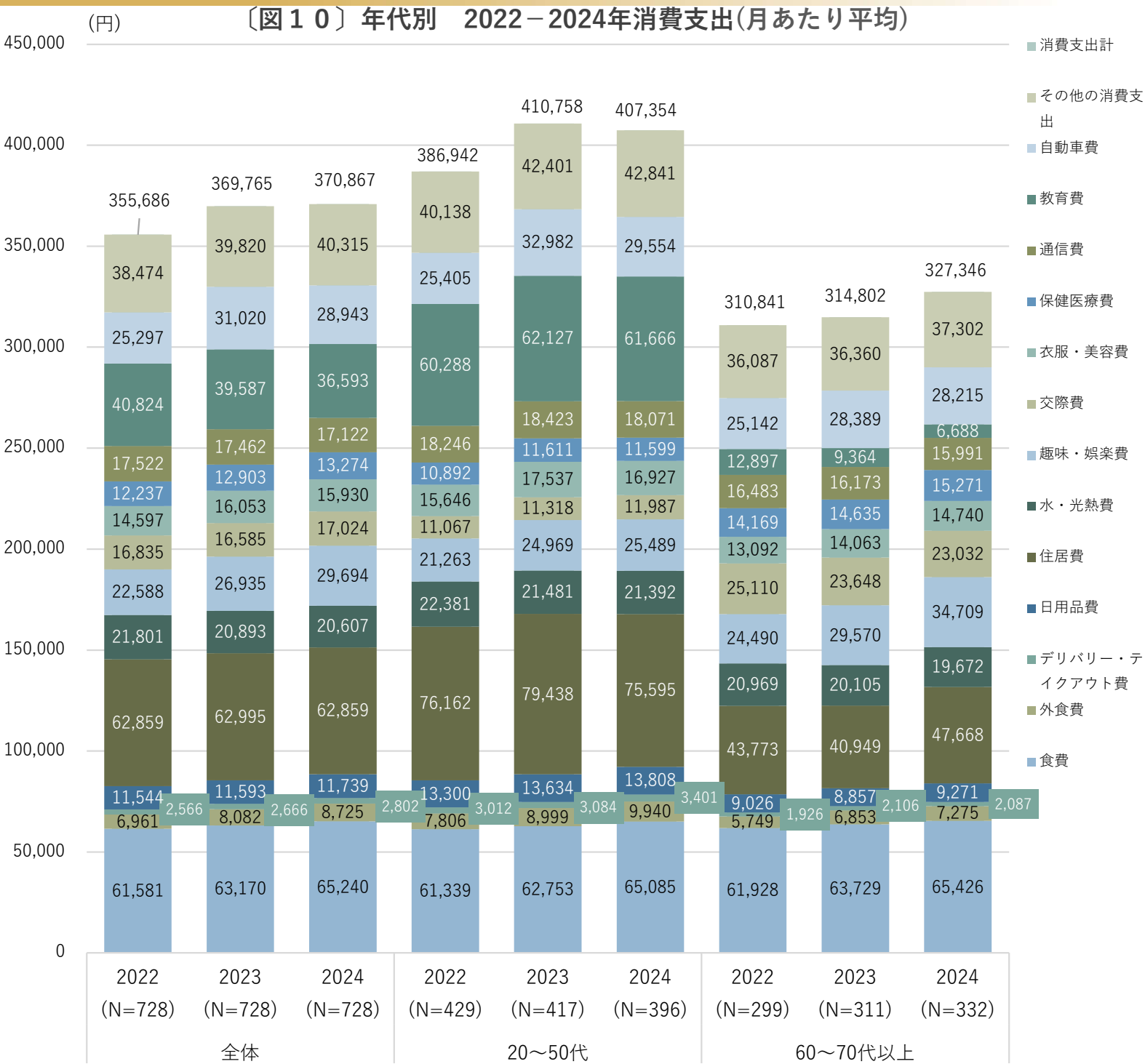
2022年からの継続モニターにおける消費支出の月あたり平均額について、3年分を比較しました(図10)。2024年モニター全体における消費支出額は370,867円で、昨年より1,102円、一昨年と比べると15,181円増加しました。

年代別にみると、20～50代は一昨年より20,412円増加していますが、昨年より3,404円減少しました。60～70代は一昨年より16,505円、昨年より12,544円増加しています。

費目別にみると、多少の増減はありつつも、全世代において「食費」「外食費」「デリバリー・テイクアウト費」「日用品費」「趣味・娯楽費」などが3年間で増加しています。反対に、「水・光熱費」・「通信費」・「教育費」が減少しました。

「食費」「外食費」「デリバリー・テイクアウト費」「日用品費」の増減率について詳しく見ました(表3)。全体ではどの費目も2022年比・2023年比共に増加しており、食費は2022年比で6%と、金額にすると最も多い「3,659円」増となっています。

2022年比の外食の増加率は、物価上昇の影響だけでなくコロナ明けの影響も見られます。

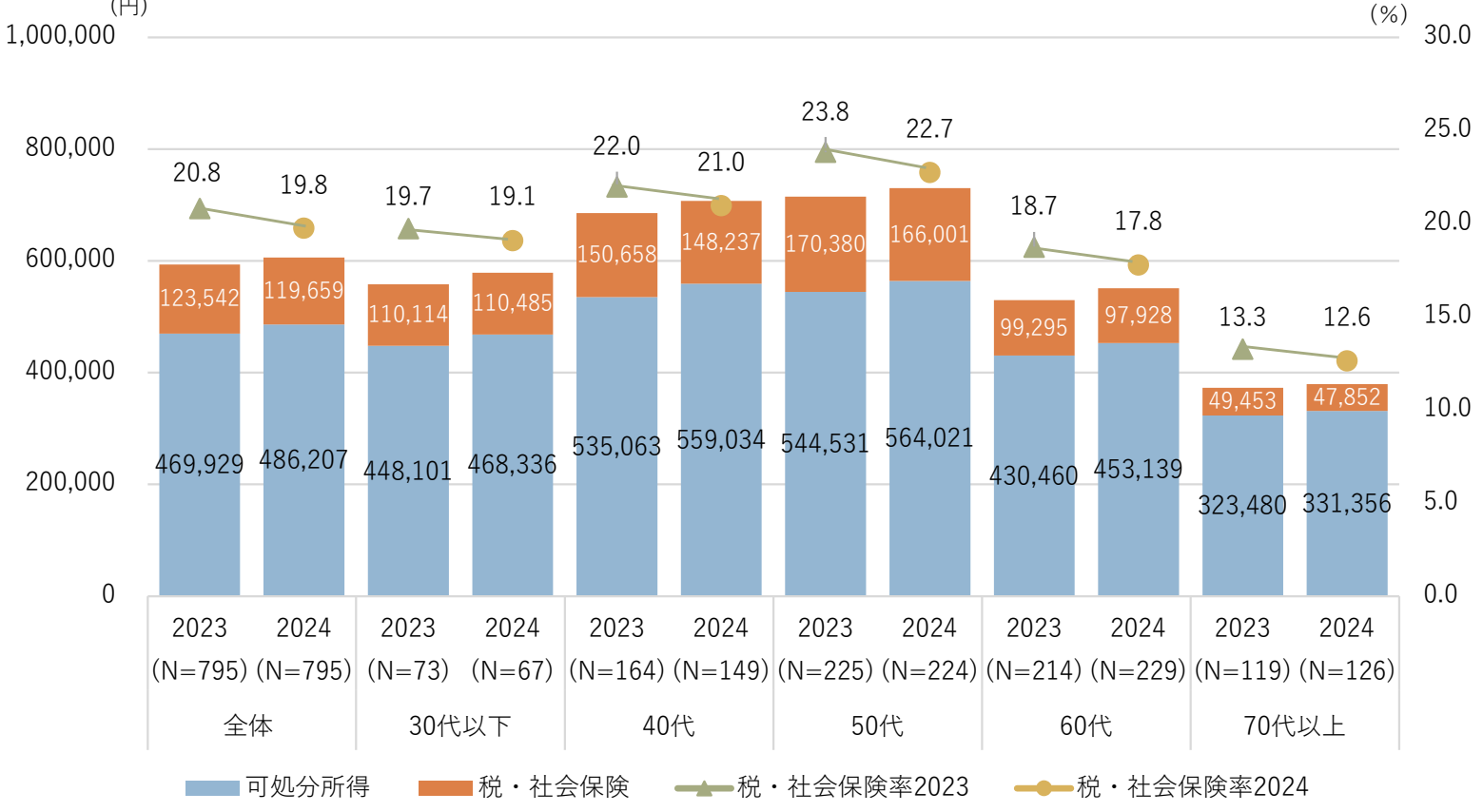


〔表 3〕 2024年の支出の増減額・率（食費、日用品費など）

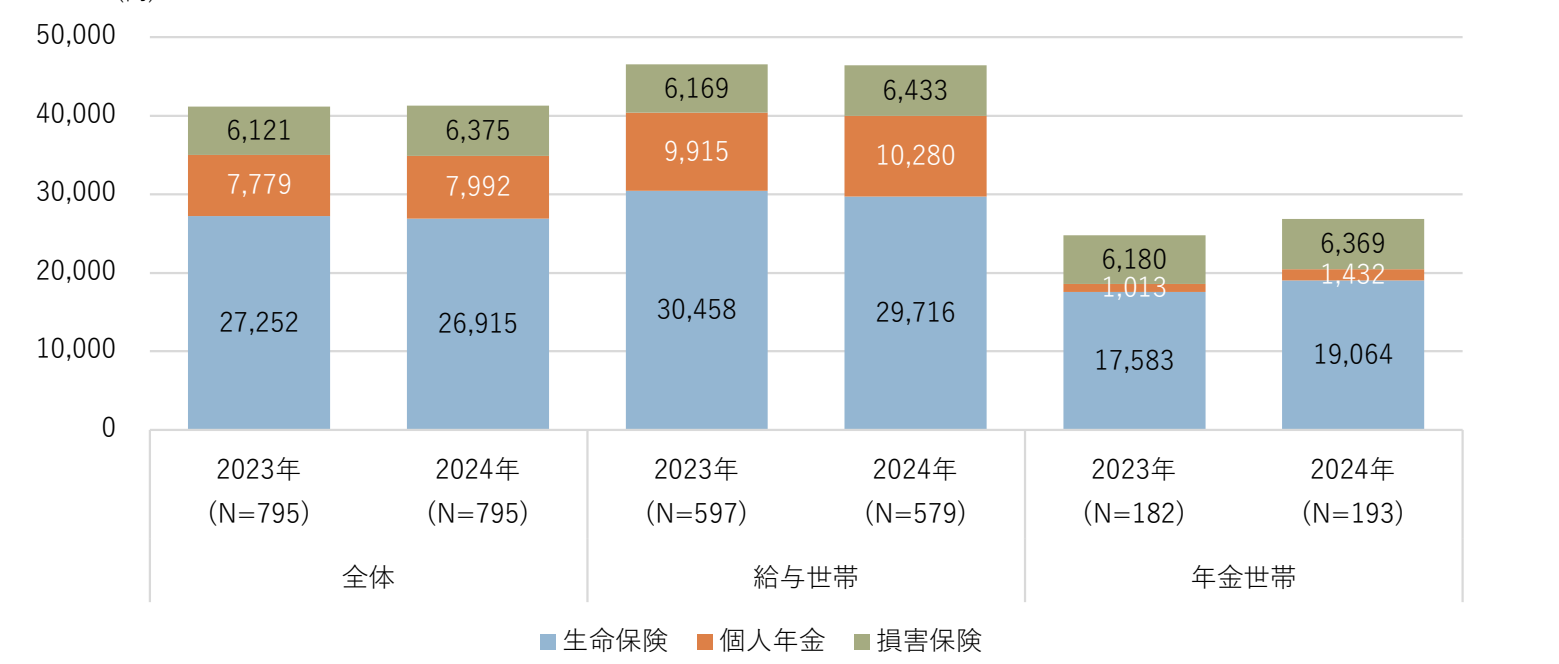
		食費	外食費	デリバリー・テイクアウト費	日用品費
全体	2023年差(円)	2,070	642	135	146
	2023年比増減率(%)	3%	8%	5%	1%
	2022年差(円)	3,659	1,764	235	195
	2022年比増減率(%)	6%	25%	9%	2%
20～50代	2023年差(円)	2,332	941	317	174
	2023年比増減率(%)	4%	10%	10%	1%
	2022年差(円)	3,746	2,134	389	508
	2022年比増減率(%)	6%	27%	13%	4%
60～70代以上	2023年差(円)	1,697	422	-19	414
	2023年比増減率(%)	3%	6%	-1%	5%
	2022年差(円)	3,497	1,527	161	245
	2022年比増減率(%)	6%	27%	8%	3%

収入に占める税金(消費税除く)と社会保険料の月あたり平均を比較しました(図1 1)。
 2024年の全体平均では、119,659円と昨年より3,883円減少しました。全年代で、昨年より負担割合は低くなっており、2024年6月より実施された定額減税の効果が表れた結果となっています。
 私的保険料の月あたり平均をみると、全体では昨年より130円の増加と、ほぼ横ばいとなりました。内訳をみると、個人年金や損害保険料が増加する一方、生命保険料が減少しています(図1 2)。

[図 1 1]年代別 収入に占める税金・社会保険料(月あたり平均)



[図 1 2]主な収入別 私的保険料比較(月あたり平均)



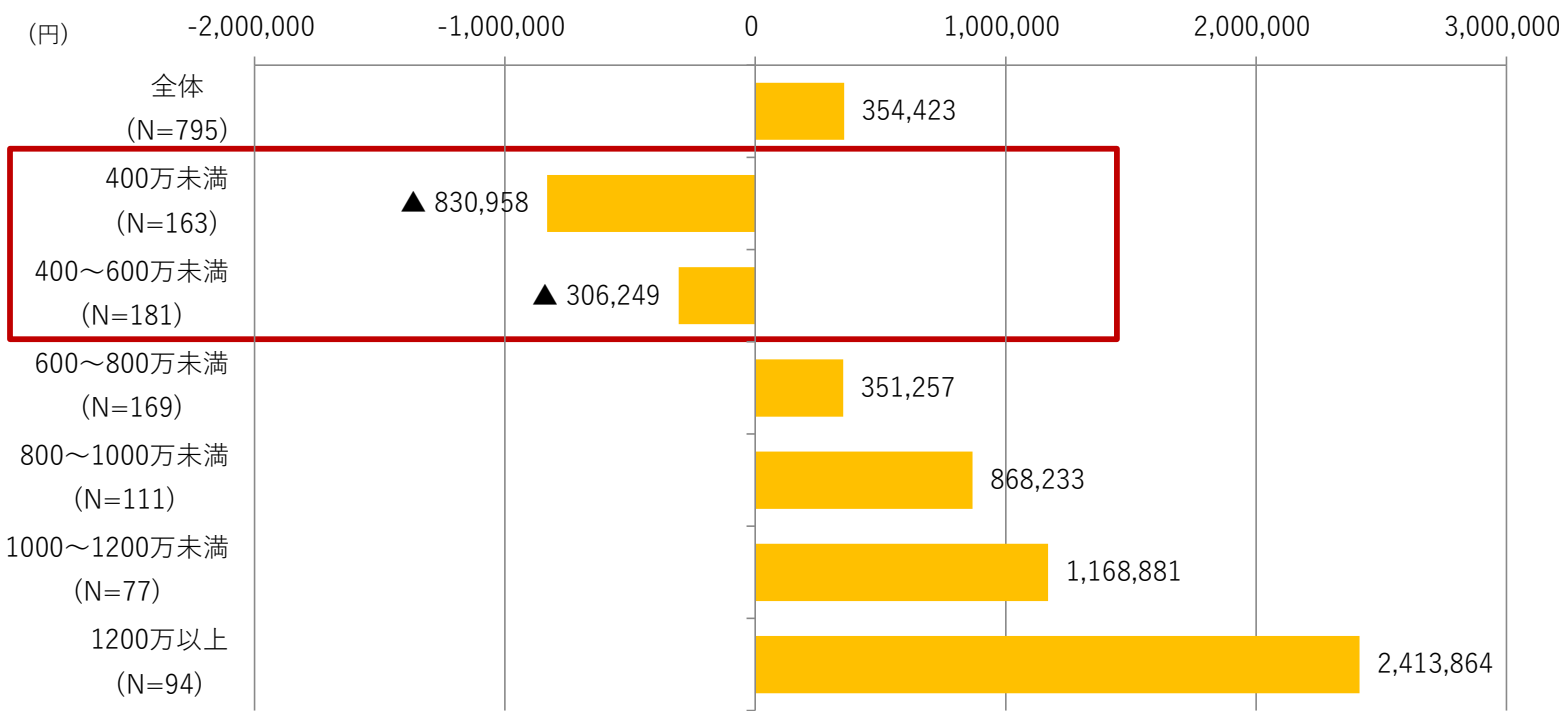
③収支

2024年と2023年の年間収支(図13・14)を比較しました。

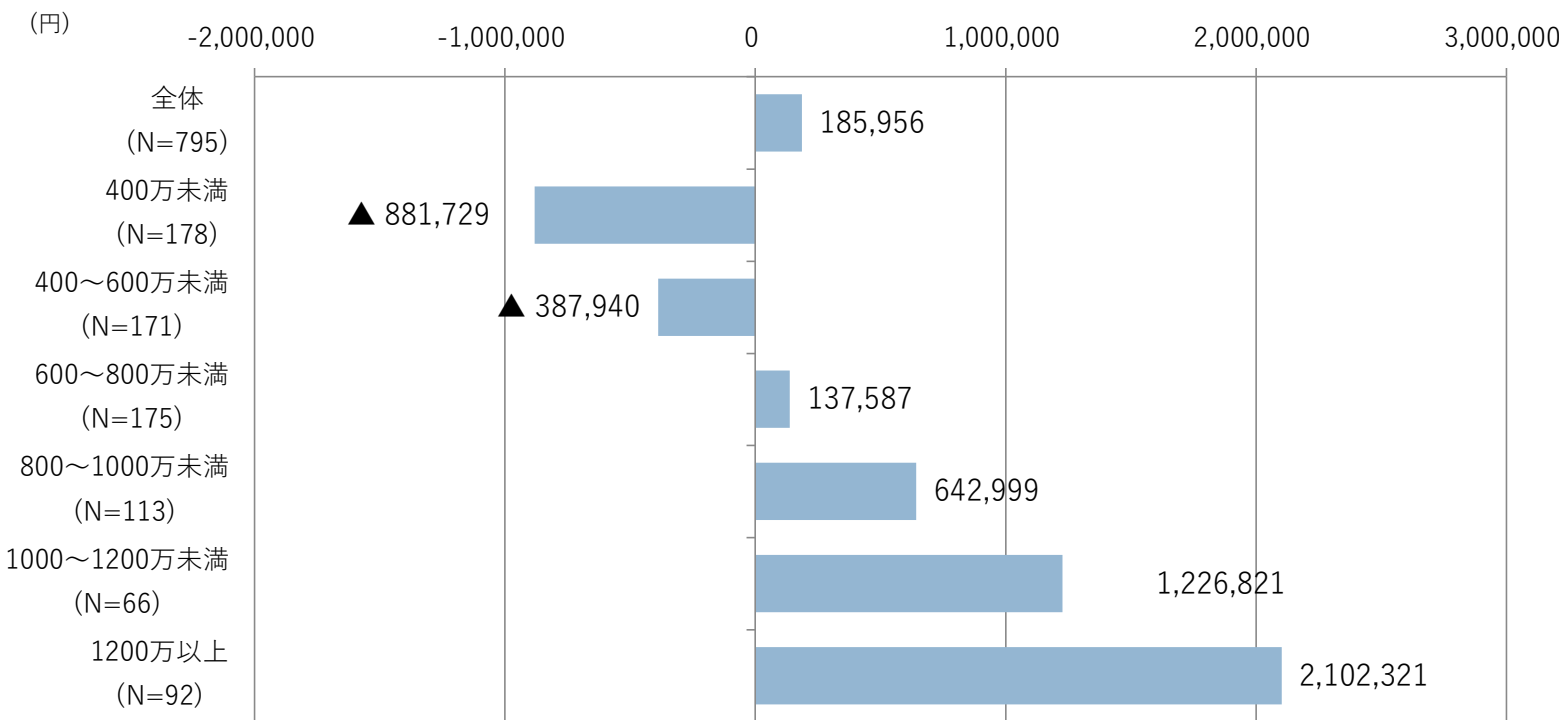
2024年の年間収支の全体平均は354,423円の黒字で、昨年よりも168,467円増加しました。世帯年収別に見ると、400万未満の世帯(約60%が年金世帯)は▲830,958円と、昨年と比べて収支の赤字幅は5万円ほど縮小、400～600万円未満の世帯も▲306,249円と、昨年より約8万円縮小しましたが、依然として厳しさが続いています。600～800万円未満の世帯では351,257円と、昨年より約21万円黒字幅が増加しました。

※不動産関連などの大きな収入・支出の影響を避けるため、「その他収入」や1,000万円を越える収入・支出を除いています。

〔図13〕 【2024年】 年収別 年間収支



〔図14〕 【2023年】 年収別 年間収支



定額減税について

●定額減税とは？

物価高による生活負担の軽減対策として、2024年6月から実施された一時的な税制措置。

●減税額

- ・所得税：本人および扶養親族1人につき **3万円**
- ・住民税：本人および扶養親族1人につき **1万円**

●対象者

合計所得金額が1,805万円以下の居住者（給与収入のみの場合は2,000万円以下）

消費税を除く税・社会保険料の負担割合が 全年代で下がったこと（p7）、年間収支の赤字幅が縮小したこと（p8）から、定額減税は一定の効果をもたらしていると言えます。その一方で、消費支出が昨年からそれほど増えていないこと（p6）から、定額減税の恩恵がさほど消費に回っていなかったと考えられます。

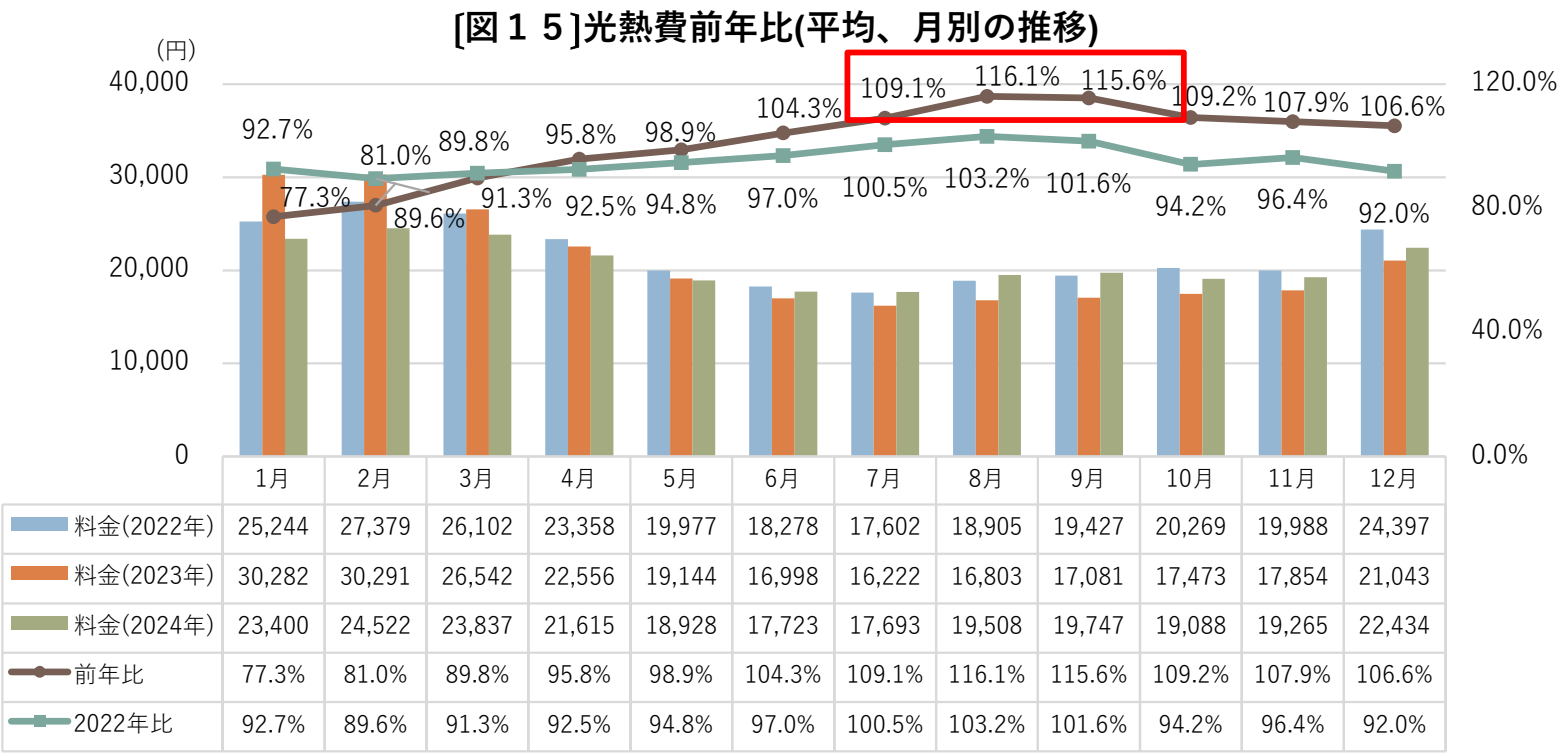
モニターからの定額減税に対するコメントでは、「ありがたい」と感じる一方、「実感が少ない」「わかりづらい」といった声が目立ちました。6月の賞与時期と重なったこともあり、恩恵を実感しにくかったことが一因のようです。また家計に余裕ができたものの「貯金に回す」という声、手取りが増えて嬉しいものの「このツケはどこに回るのか」といった不安の声も寄せられています。

／ モニターの声 ／

- ・ 今月は定額減税があり所得税が引かれなかった分**現金が増えてよかった**。
- ・ 定額減税により、**手取り額が増え、とてもありがたい**です。子供の学資のために**貯金したい**と思います。
- ・ ボーナスが全くないので苦しいですが、定額減税や年末調整戻りで**少しだけ足しになりました**。
- ・ **家計に余裕ができましたが、子ども分は貯金にまわすため使いすぎないように早めに分けよう**と思います。
- ・ 6月はボーナスが無事に出て、定額減税も行われ、**家計簿をつけるとちょっと嬉しくなりました**。一時的な嬉しさですが。本当は、この**ツケはどこに回っていくのだろう**という不安の方が大きいです。
- ・ 所得税がゼロで**ちょっとうれしい**。でも後々**また増税がやってくるのでは？**
- ・ 定額減税がありましたが、ふるさと納税をしたり、固定資産税を支払い**気付かぬうちに全額無くなりました**。
- ・ 減税されたものの、**賞与の所得税と一緒にたになって数字を見ても実感がありません**。実際はかなりの額が減税されているのに、これでは財布の紐は緩みにくいかも？
- ・ 税理士事務所に勤務している身としては、これまでの軽減税率やインボイスに加え**さらに負担が大きくなりため息しか出ません**。家族4人で12万円はありがたいけど一度に振り込まれた方が嬉しいです。
- ・ 定額減税が**ややこしい**です。国民年金の所得税はゼロになっていますが、企業年金からは減税されず、とりあえず市から1万円の支給がありましたが、残り5万円は確定申告後に精算されるそうです。**ちゃんと手続きができて、いただけるのか心配**です。
- ・ 定額減税のニュースは嬉しかったですが、賞与による増額に紛れて**恩恵を実感することは少なかった**です。
- ・ **分かりにくい減税方法**。減税しても財布の紐はキツくなるばかり。
- ・ 定額減税を**実感することもなく**、ふるさと納税の楽しみもない寂しい年金生活です。
- ・ 定額減税で所得税も住民税も0ですが、**あまり手取りが増えたという感じはありません**でした。
- ・ 定額減税があったが、**さほど大きな喜びではなかった**。

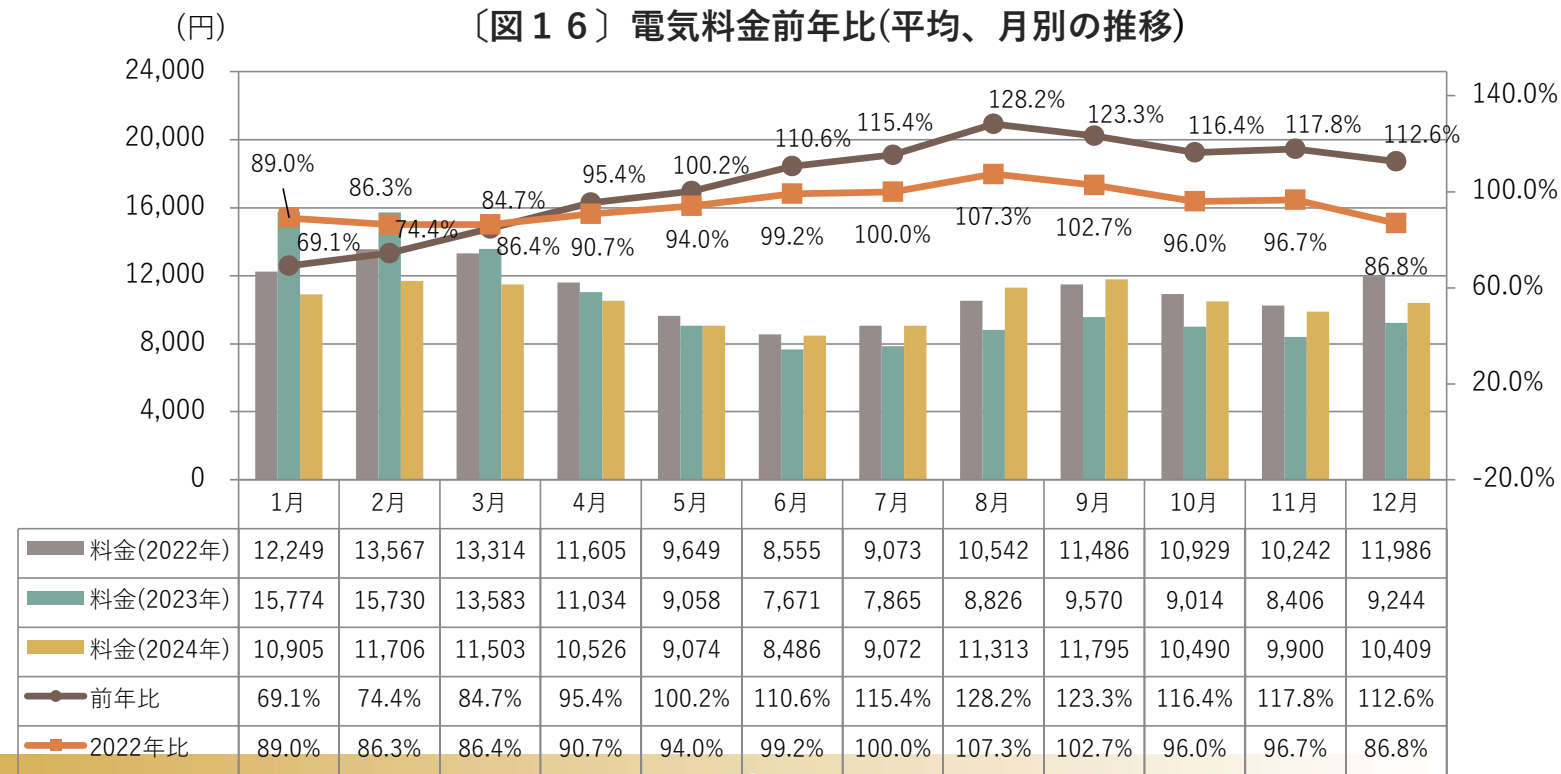
3. 水・光熱費

電気・ガス・水道などをあわせた水・光熱費を2022～2024年の3年分比較しました(図15)。政府による補助がなかった期間(2024年6、7月使用分)が反映される7～9月は3年間で最も費用が高くなりましたが、特に1～5月は補助の恩恵を受けた結果となりました。



①電気

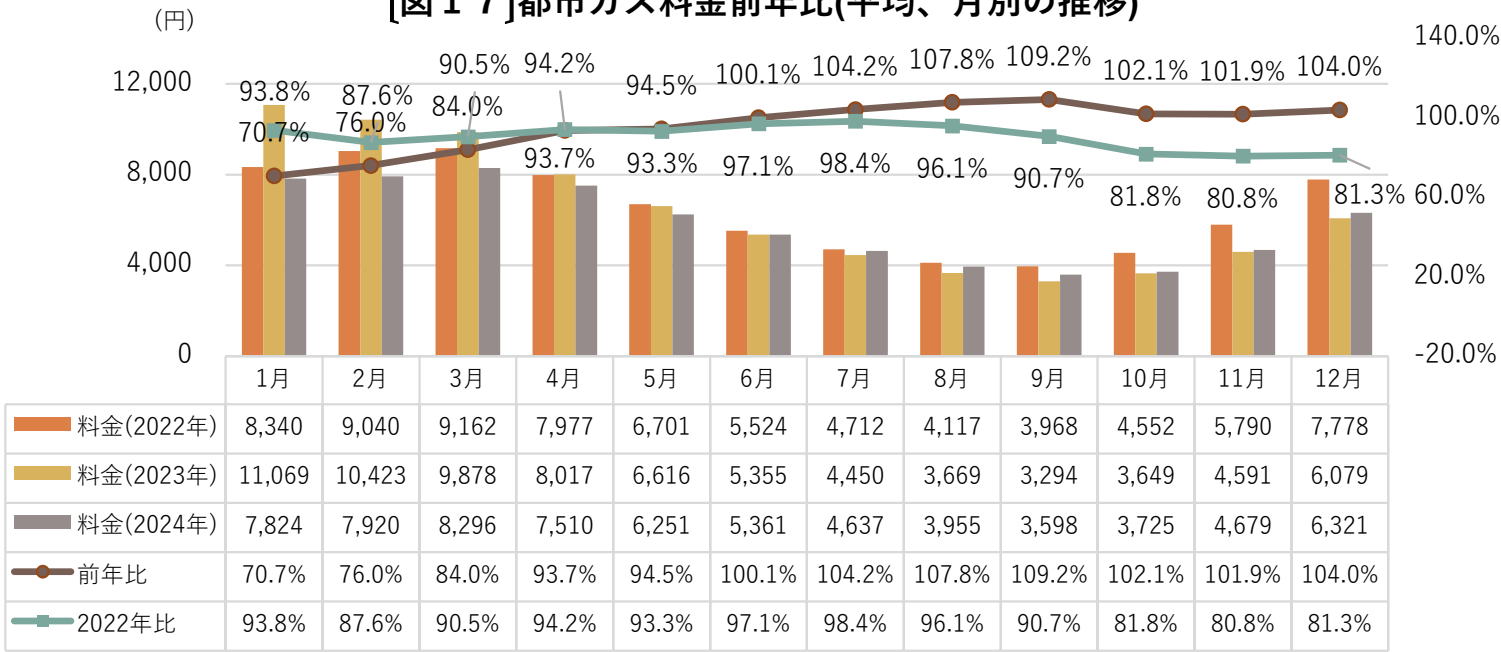
電気料金を、2022～2024年の3年分比較しました(図16)。政府の補助金額の減少や、補助がない期間があったことにより、5月以降は前年を上回っています。一昨年と比べると、7～9月以外の月で下回りました。



②都市ガス

都市ガス料金を2022～2024年の3年分比較しました(図17)。1～5月は、過去2年間と比べて約70～95%に減少しました。2024年後半は政府補助の減額・補助なし期間のため、前年と比べると微増しています。一昨年比では、全ての月で下回っており、最も金額に差がある12月では、1,500円ほど減少しました。

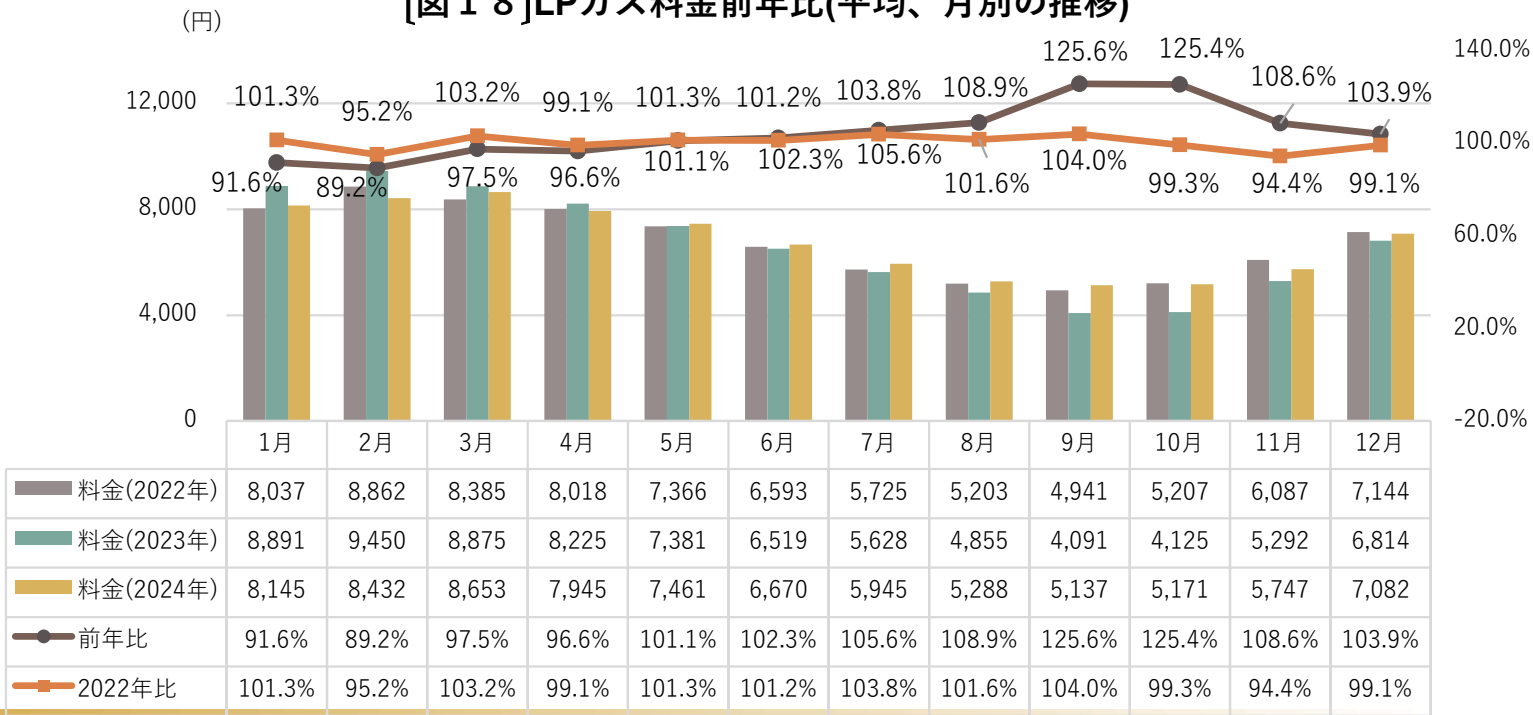
[図17]都市ガス料金前年比(平均、月別の推移)



③LPガス

LPガス料金を2022～2024年の3年分比較しました(図18)。2022年比では安定していましたが、前年比では、5月以降上回っており、特に9・10月で25%以上増加しました。

[図18]LPガス料金前年比(平均、月別の推移)



4. 消費税しらべ

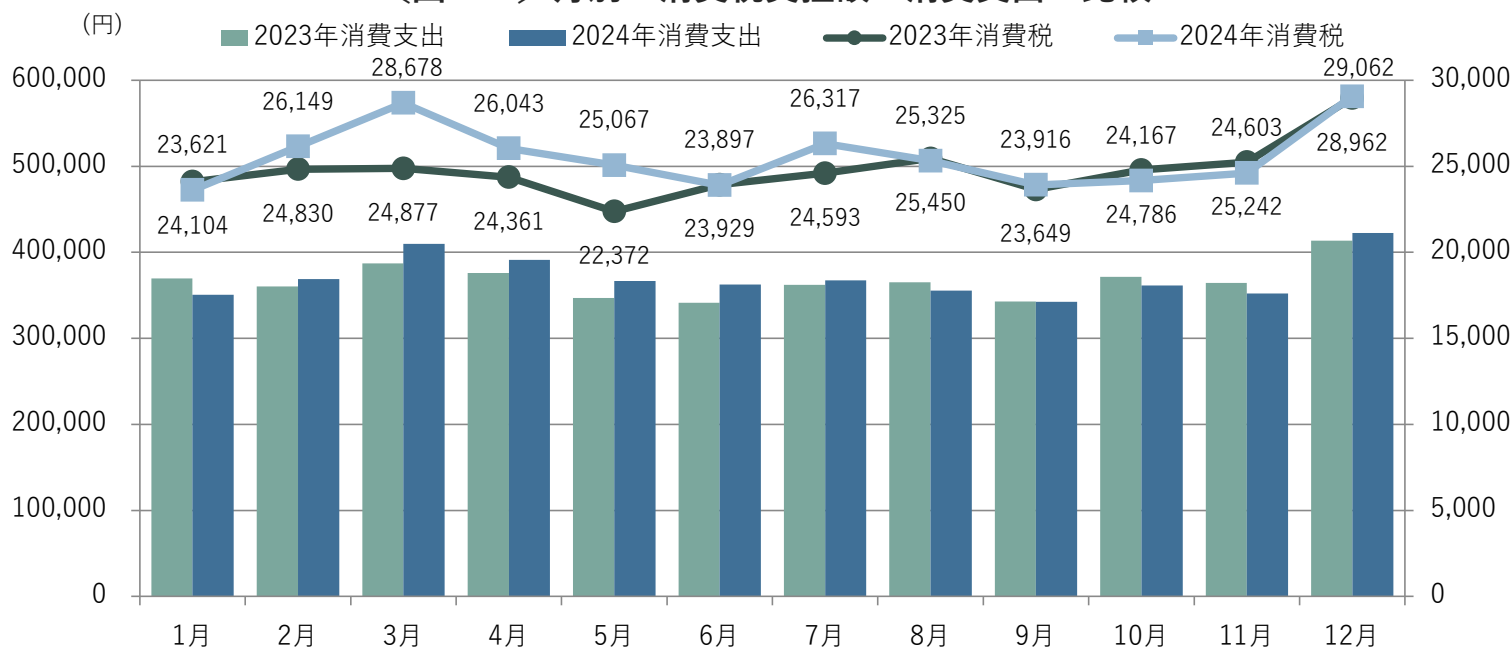
【「消費税しらべ」の概要】

「家計・くらしの調査」と並行して、「消費税しらべ」を実施しました。本調査は「家計・くらしの調査」の参加モニターを対象に、消費支出に占める消費税の金額を毎月提出いただく任意の調査です。2024年は695名の方にご協力いただき、有効回答655件について集計しました。

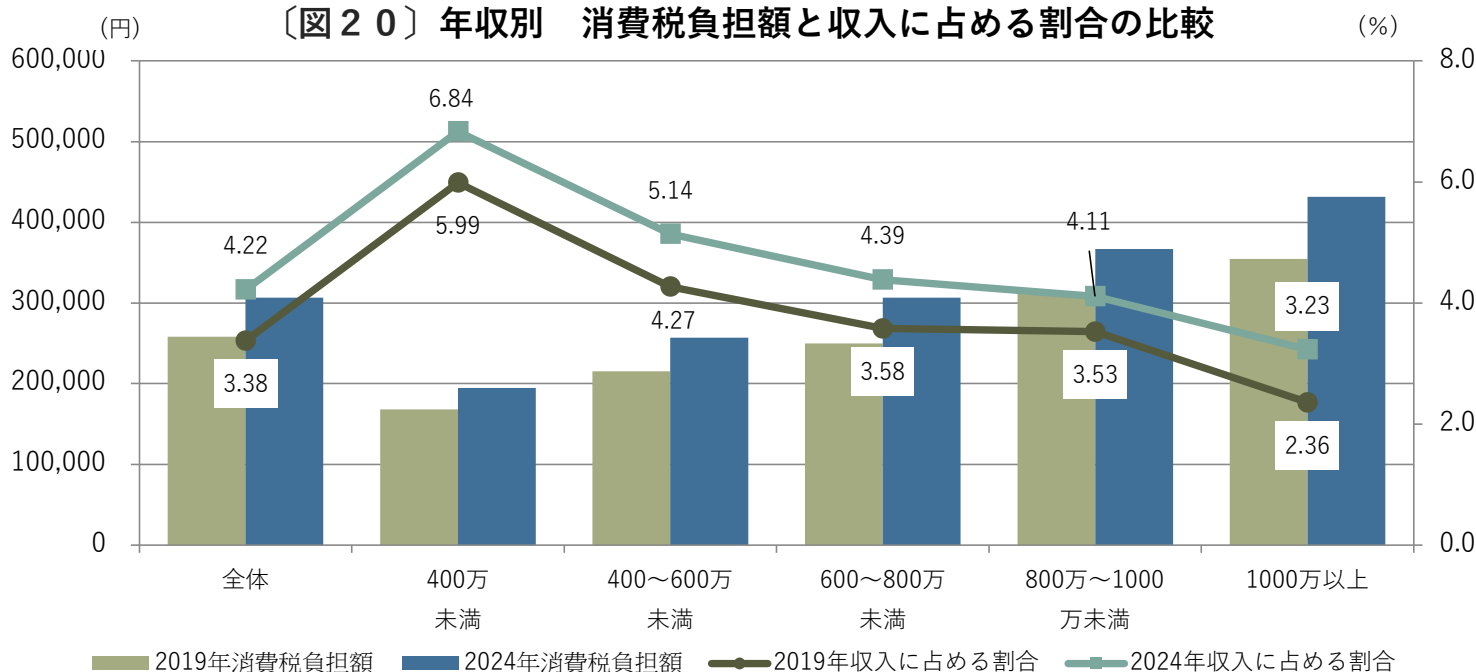
消費税の負担額を昨年と比べると、月あたり平均で807円高くなりました。特に支出の多かった3月は約4,000円の差があり、3万円近くの消費税額となっています(図19)。

消費税の収入に占める負担割合を、2019年10月の税率引き上げ前と比較するため、2019年と2024年を比較しました。年収の階層が低い世帯ほど負担率が高く、特に400万円未満では、収入の6.8%を占める結果となりました(図20)。また、消費税負担額の19年と24年の比較は全体平均で18.8%の増加となっています。

〔図19〕月別 消費税負担額・消費支出の比較



〔図20〕年収別 消費税負担額と収入に占める割合の比較

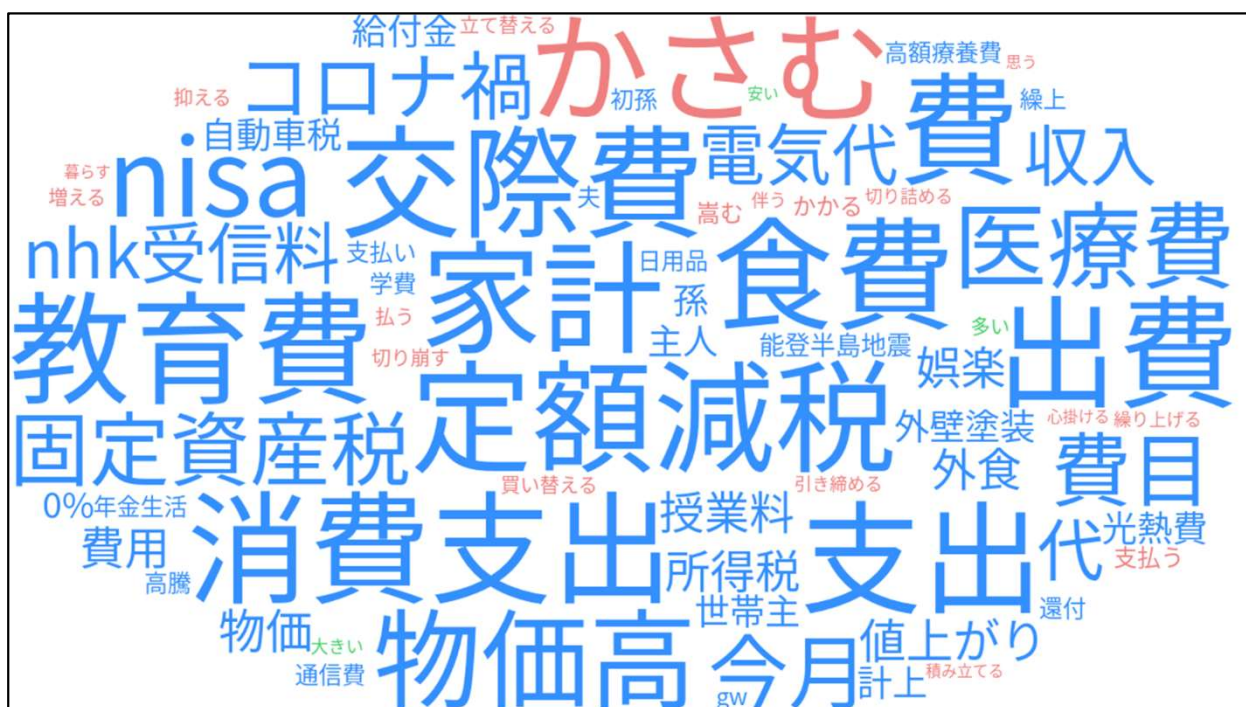


5. 2024年モニターから届いた声

2024年にモニターから届いた声をテキストマイニングしました(図2-1)。「支出」「食費」「教育費」「交際費」「医療費」「物価高」など、支出に関する声が多く寄せられ、それに関連して「かさむ」「増える」「支払う」「引き締める」「切り詰める」「切り崩す」といったキーワードが使われる傾向にありました。また、2024年6月から実施された「定額減税」も多く寄せられたキーワードとしてあがっています。

前年(図2.2)も支出に関する声は多く寄せられましたが、2024年は「物価高」「かさむ」の文字が大きくなっているように、物価高騰・値上げによる負担がさらに強まっていることがうかがえます。

〔図21〕 2024年モニターから届いた声のテキストマイニング



〔図22〕（参考）2023年モニターから届いた声のテキストマイニング



物価は相変わらず高止まりで家計は楽になりません。特にお米の価格がジワジワと上がってご飯が大好きな私は思い切り食べられなくて寂しいです。実質賃金さがり続けているのも家計的には痛いです。(千葉県 40代)

まったく贅沢しているつもりはなく、普段どおりの買い物をしているつもりなんですけど、食費がかさむ。買い物かごに入れた品数と、支払い額がアンマッチな気がするの私だけでしょうか。(大阪府 50代)

マンションの大規模修繕が始まります。築30年、二度目の工事ですが、今回は資材や人件費の高騰で積み立ててきたものではならず、一時金(90,450円)の集金がありました。(静岡県 60代)

物価の値上がりで日常の食料品などをかうことでいっぱいになり、交通費や会費のかかる学習会や講演会に行くことをやめています。習い事もやめましたし、趣味や娯楽にお金をまわすことも避け、味気ない暮らしになりました。(神奈川県 70代)

値上げ、値上げ、値上げ…この言葉、ここ数年耳にタコができる程聞いてきました。更に6月からは電気やガス料金の国の補助も打ち切りとかで、キビシ〜イ！ 賃上げしても追いつかない物価の上昇。実質賃金が24ヶ月連続してマイナスというこの現実！ 年金暮らしの身にも毎日の家計簿の中でその厳しさが強く迫っていることを、実感しています。どこぞに金の成る木はないもののでしょうか。(山口県 80代)

能登半島地震で職場が被災し、給料減少がまだ続いています。自分のダブルワークの収入、7、8月と下落した投資信託が回復し、又ポイント活動での収入も大きく精神的に助けられています。(石川県 40代)

能登地震から一カ月以上経っても断水が続いている地域がたくさんあります。トイレ、風呂、洗濯、飲食あらゆる事が出来ない。それを考えると防災グッズをどこまで揃えれば充分なのか考えてしまいます。簡易トイレはどんなのを何回分？水はどれくらい？下着類は？他、本当に役立つものは？等々。揃えるのにはお金もかかるし、狭いアパート暮らしなので置き場所にも悩むところです。(佐賀県 60代)

猛暑続きでエアコン無しでは過ごせない事が日常になり、電気代高騰も相まって、収入の1割越えが電気料金と言う大変なご時世になりました。犬を飼っている我が家では24時間フル稼働が一室に、夜間フル稼働の家族の寝室が二部屋…。収支から見て、食費を工夫すれば電気料金が賄えるのでは？と本日気付きました。今さらです。(群馬県 70代)

今月は電気シニア対象の「冬の応援割」で1,100円、県のプロパンガス助成金1,100円の控除がありました。冬は電気やガスの使用量が多いので、とてもラッキーな気分です。(徳島県 70代)

電気代が過去最高に高かったです。長女と赤ちゃんがいるため、24時間エアコンは付けっぱなし、1台じゃなく2台、時には3台と。節約したい私は暑がりの長女と何回も設定温度で口論に…最後には諦めました。毎日毎日猛暑でした。(茨城県 60代)

最近子どもが食べ盛りでなかなか食費がおさえられないのが辛いです。食べたいものをあかと言えないので、節約ができません。(滋賀県 30代)

ポイント活で貯めたポイントを数えてみたらなんと6,000円分！ PayPayに変えて都度使っているのになんかに貯まっていたなんてびっくり！ チリツモですね。(青森県 20代)

今月も引き続き、食料品・日用品の値上げが続く、連休もありましたがなるべく節約を心掛けました。また電気・ガスの補助金が減り使用料金の負担が増えたので、これからの季節はできる範囲で節電するように気をつけたいです。(福岡県 70代)

食費の節約になればといつもと違うスーパーに行ってみたら、先月より少し減らすことが出来て嬉しかったです。買い物の内容は前より良くなり満足出来ました。やり方で変わることを知り勉強になりました。(大阪府 50代)

米が高いのがつらすぎます。月20キロは食べるし、朝はみんなご飯がいいと言うのでパンにもできず、コメ難民となり探し歩きました。見つけても高く、値段が4割増とニュースでやってたけど、ほぼ倍ですね？ つらい。つらすぎる。みんなどうしてるんでしょう。(青森県 40代)

お米はこれまで安いものを探して、なんとかやりくりしてきましたが、新米が出回ってから、安いものが見つからず、仕方なく、これまでの倍以上の値段のものを買っています。野菜も猛暑のせいでびっくりするような値段のものが多く、少し値段の戻っていた卵もまたじわじわと値上がりしてきて、買い物に行くたびにため息が出ます。(和歌山県 30代)

定額減税で家計に余裕ができましたが、子ども分は貯金に回すため早めに分けようと思います。相変わらず食費は節約しようにも節約できず、子どもと買い物行くたびにお菓子を買われます。(神奈川県 30代)

所得税と住民税の減税のおかげで、しかもボーナス月でもあったので、手取りが思ったより多く減税を実感できました。今年は子供の受験もあり、これから物入りになるので、手堅く予備費を確保したいと思います。物価高や円高など不安要素の多い中で、所得が増えたからと言ってそうそう財布のひもは緩められません。(兵庫県 40代)

定額減税、確かに項目としてはゼロだけど、実感がありません。この分はどうせまた増税されるんだろうなと思うし。(兵庫県 60代)

4月から思いがけず地方公務員になり、安定した収入を得ることに…会社を始めた息子の支援もでき、この年で将来に(?)繋がる職も得られ春到来です。(東京都 50代)

パートの時給が上がりましたが、扶養範囲を超えそうになってしまいます。時給上がるのは嬉しいはずなのに…と思ってしまいます。(東京都 40代)

今年のパートは130万円を少し越しそうだったので休みを調整してなんとか抑えました。子供も小学生になったので来年からは少し時間を増やして社会保険に加入することにしました。ありがたいことに正社員への打診もいただきましたが、繁忙期の残業がまた無理なので数年後に先延ばしとなりました。これからは教育費もかかるので頑張ってます。(岐阜県 30代)

子供が社会人になり奨学金返済が始まりましたが、一括で返済しました。子供が家に返済することで少しでも利息分助かるかなと決めました。(青森県 60代)

旅行へ行こうと予約サイトで比較するが軒並み飛行機、インバウンドによるのかホテル代がほぼ割引がなくなっており、早割以外はかなり値上がりになっている。その中でも、航空会社のスーパーセールで何とか予約して数か月後の旅行を楽しみに日常の行事をこなしている。(高知県 60代)

この春から家を出て寮生活をしている長女と、部活や大会で忙しい次女、単身赴任中の夫が一時帰宅して、夏休みに車で家族旅行に出かけました。旅先でそれぞれアクセサリを作る体験も行い、娯楽費と自動車費は普段よりかなり跳ね上がりましたが、家族全員が元気で揃って出掛けられたことが嬉しく、良い思い出になりました。子どもが巣立つまで、あと何回一緒に旅行できるかな。(宮城県 40代)

年に一度の海外の旅がコロナの3年間では行けず、昨年からは行くようになりました。コロナ前と比べると、何もかも値上がり驚きです。でも夫婦の共通の趣味である旅行のため、日々一生懸命暮らしているの、「また来年も元気で行こう」が目標です。義母が亡くなり、どう人生の幕を引くのが身近になりました。「行ける時にいってきなさい」いつも旅行に行く私たちをこう言って送り出してくれた義母。いつまでも旅できるよう健康管理して楽しみたい。(大阪府 70代)

次男が大学に合格し家を出て行きました。共通テストから二次試験、卒業式、発表、家を出るまで長いような、あっという間のような2ヶ月半でした。家を出て2週間、息子がいない毎日に慣れず、息子部屋のカーテンを朝開け夜には閉めたり、ご飯を作る量が分からなくなったりしています。少しずつ、子どもが家からいなくなる生活に慣れ、夫との二人暮らしをイメージしていかねばと思っています。子どもが巣立つことはとても嬉しい反面、やはりこんなに寂しいんだなとしみじみ。でも、家族で嬉しい春を迎えられたこと、嬉しい瞬間をたくさん味わえたことにはとても感謝しています。次は娘の高校受験！応援頑張ります。(茨城県 50代)

子どもをもつ保護者と話題になったのが、幼保無償化や義務教育と言われていても教育費は案外かかる点。幼稚園の送迎バス代や小学校の鍵盤ハーモニカ、スキーセット…習い事をしているだけでも教育費はなかなかの出費です。(北海道 30代)

姉妹3人で6年振りに会うことが出来ました。姉84歳私81歳妹78歳で熱海の温泉にゆっくり浸かりそれから東京のスカイツリーと東京都庁の展望台で高いところから東京を眺める2泊3日の旅でした。姉妹を産んでくれた母に感謝です。来年も頑張りたいです。お葬式にも会えなかった数年でした。まだまだ元気で旅行をすることで会えますように！(兵庫県 80代)

誕生日を迎え62才になりました。「特別支給の厚生年金」を受給できる年齢になり、3月半ばに手続きに行ってきました。いつからもらえるのかな？でも見込額はおこづかい程度(涙)。当面は身体と相談しながら、今のお仕事を続けていくしか無いでしょうね。「年金」だけで生活できる日々がくるのでしょうか？(大阪府 60代)

祖母の家を解体しました。費用は父負担なので我が家には関係ありませんが、庭付きの広い平屋で200万円もかかりました。畳など出来る限りは自分たちで処分し、売れそうなものはメルカリで出品、15万円ほど利益が出ました。いつかは実家の処分をしないといけないので、その費用も考えておかないといけませんね。(岐阜県 30代)

初孫が高校を卒業し進学した。教育ローンを使うと言うので塩蔵していた私の葬式代を、卒業した後10年以内に返済する事を条件に親と本人に貸した。資産運用で国債や株の購入を塩蔵している銀行から進められるが、只の主婦が小金を見通しの見えない物に使うよりは孫の将来の事や笑顔を見える事に使いたい。葬式代が返済されるまで私も頑張って生きて行かねばと心に誓うのであった。(青森県 70代)

長女の前期分の学費の支払いがあった為、教育費が多くなりました。地方在住のため選択肢が少なく進学時は一人暮らしになり仕送りが必要になると覚悟はしていましたが月々の仕送りもあり支出はなかなかのものです。理系なので国立大学に入ってくれたことが大変ありがたいです。(富山県 40代)

子どもの学資資金としてドル建ての保険を契約していますが、円安の影響でかなりの出費になっています。契約当初は1ドル112円程だったのが、今や1ドル154円とかなりの幅があり夫とキツイねと言っています。払込期間があと3年なので、なんとか持ちこたえたいところです。(埼玉県 30代)

実家の父が大腿骨骨折で入院、手術と大変でした。母は初めて一人暮らしする事になり実家と家の往復を5回くらいする事になりました。デイサービスや配食のお世話になり、有り難く思っています。朝夜は母からの安否確認、昼は私からの安否確認を毎日続けています。母もどうにか一人暮らしに慣れてきたようです。両親が今まで元気で安心してたのに、急にこのような事になり介護保険等の有り難さが実感できています。(徳島県 50代)

遠方に住む父が亡くなりました。7月初めに急変してもおかしくない状態と言われていましたが、8月の母の米寿のお食事会当日は体調が良く、主人、娘、兄夫婦と7人一緒に食事出来ました。結局それが家で食べた最後の食事でその後急変し、緩和病棟へ入院。医師からは後2〜3日と告げられました。佐賀へ帰宅していた私は覚悟して病院へ。父は私が声を掛けるとうなづいたり、手で合図したり、目も開けてくれました。日ごと弱っていきながらも8月14日まで頑張ってくれました。認知症の母は「お父さんどこ？」「病気で亡くなって葬儀も一緒にしたよ」と説明すると「元気やったのに嘘やろ？」と涙。でも数十秒後には「お父さんは？」の会話。葬儀も終わり私は佐賀へ帰ったけれど、母の事が気になり、又母の所へ。猛暑の中の移動、葬儀、睡眠不足、認知症の母の対応、父の死で心身共に疲れ切っていたのか8月末にコロナに感染してしまいました。色んな事が有った8月、交通費・交際費・病院代・被服費とびっくりする支出になりました。(佐賀県 60代)

GWに亡くなった母の相続金を受け取りました。小市民なのでどうしたらいいのか思案中です。母は、父を100歳まで長生きしてもらうために頑張っていたので、気力の萎えてしまった父が長生きできるように、兄と交代で住み込みで実家に通っています。テレワークで、仕事続けながら飛行機乗って遠方の実家に帰省出来る今の時代に感謝しつつ、母のおかげでお金の心配も解消されますので、やはり介護は兄弟関係も含め色々大変ですが気長にやっていきたいです。(北海道 50代)

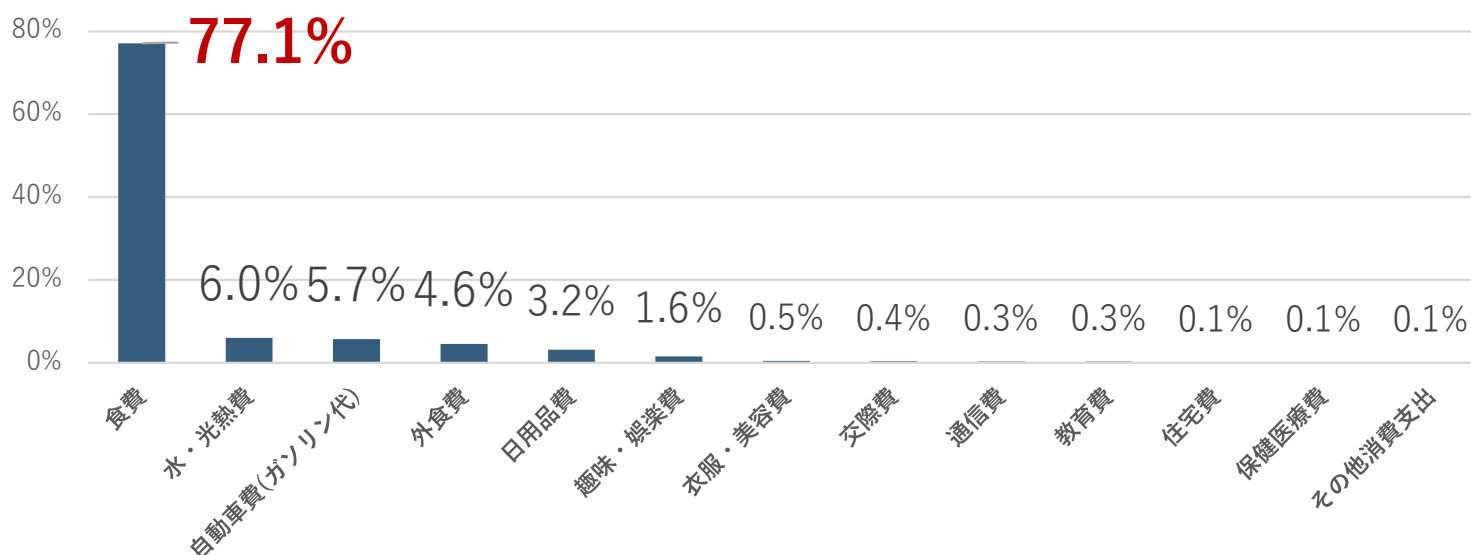
9月からコグニケアという認知症予防・健康づくりサービスに参加しています。軽い運動と脳のトレーニングで、週一回、夫は一人では行かないと言うので一緒に行きます。(兵庫県 80代)

6. 4～11月のプチアンケート（参考）

4月プチアンケート「物価高」について

Q1 物価高の影響を特に感じる支出は？

「食費」がダントツの1位、「水・光熱費」「自動車費（ガソリン代）」が次に続きました。



物価高騰に伴い、給与を上げる企業（上げる予定の企業）が増えているようです。

Q2 昨年4月と比べ、収入は増えましたか？

※給与世帯のみ対象

「収入が変わらない」が58.1%と半分以上を占める結果となりました。
「増えた・増える予定」は全体の約1/4、「減った」世帯は6%でした。

上がったが、月額1,500円のアップであった（非正規）。

アンケートのコメント

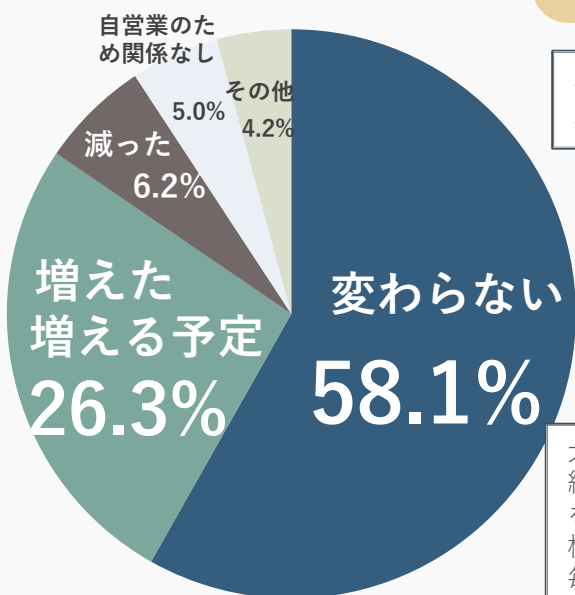
状況をみこして去年転職し、年収は290万から400万以上にあげた。

最低賃金が上がったので、その時に時給がちょびっとだけ上がりました。「焼け石に水」くらいにはなったのかなあ？上がった感のない「賃上げ」でした。

主人の基本給等は変わりませんが、物価高のための補助金が出るようになりましたので、実質的な収入は増えます。妻の収入は変わりません。

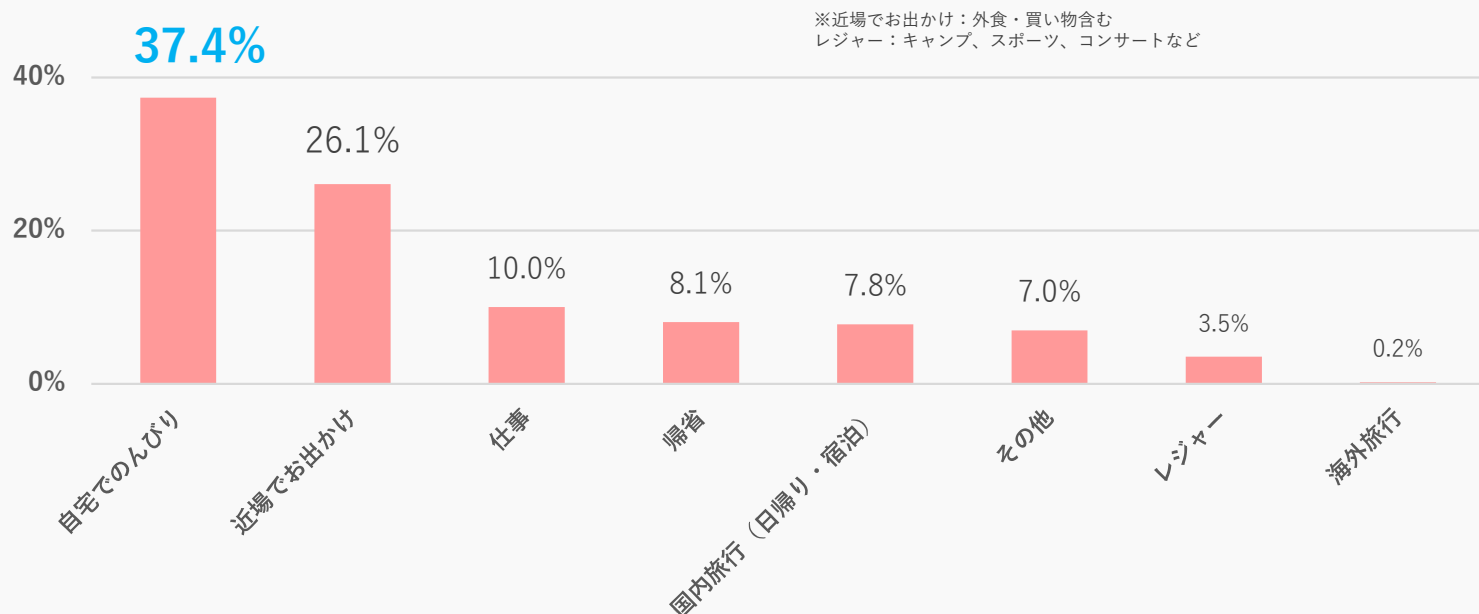
物価が上がり、賃金はそのままだので、実質の給与は下がっているという認識です。

大企業は賃金の値上げを行えるかもしれないが、末端の会社はそのしわ寄せで結局値下げをせまられ、賃金を上げるところから従業員に給料を払うために身銭を切るしかなく、それなのに物価はあがる、電気代もあがる。一般消費者に価格転嫁すればよい企業は楽だなあとそれでも身銭を切りながら仕事をしている毎日です。



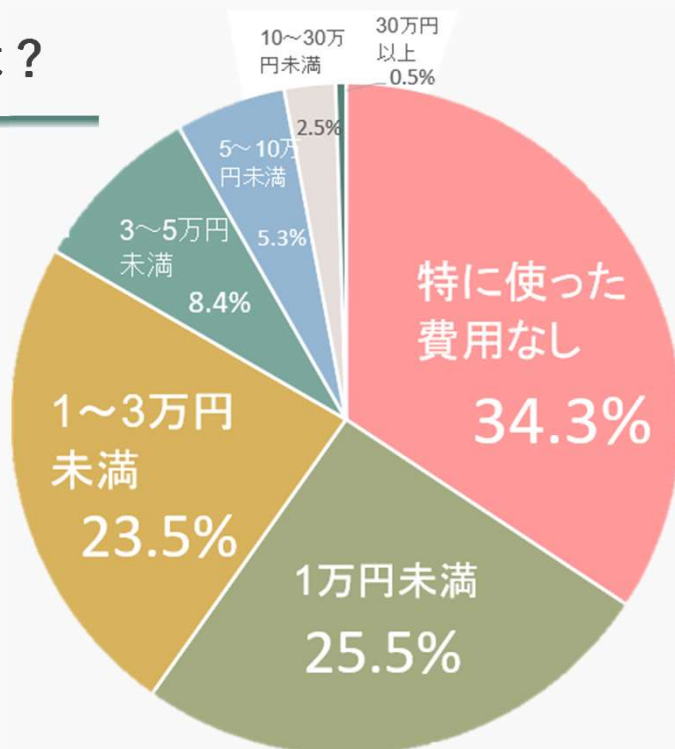
Q1 GWは主にどのように過ごしましたか？

回答数1,017件中、「自宅でのんびり」が1/3以上でした！続いて「近場でお出かけ」と、GWは遠出をせず過ごされた方が多かったようです。お仕事の方も1/10ほど、お疲れ様でした。



Q2 GWを楽しむために使った費用は？

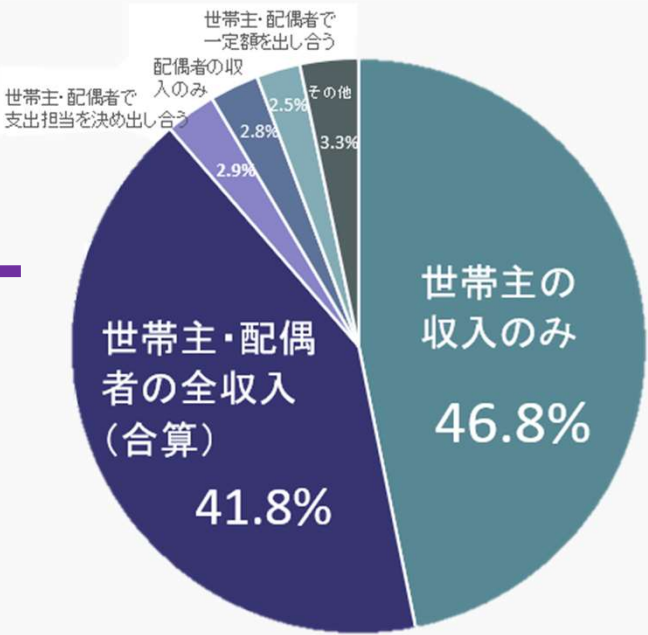
「特に使った費用なし」が1位、3万円未満が全体の約8割となりました。
今年は、支出を抑えめに、のんびり過ごすGWだったことがうかがえます。



Q1 1か月の生活費は

どなたの収入でまかなわれていますか？

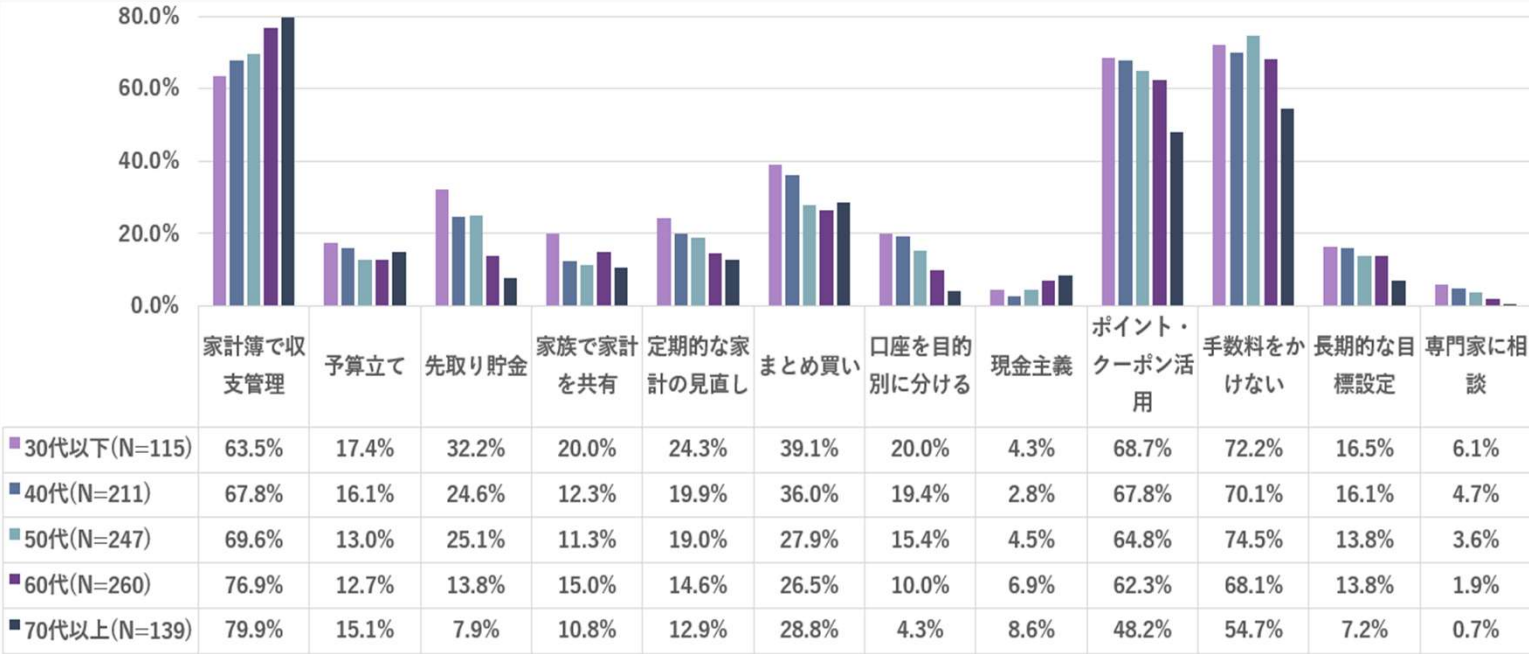
「世帯主の収入のみ」が約47%、「世帯主・配偶者の全収入（合算）」が約42%でした。



Q2 家計のやりくりのため実施していることは？

※複数回答

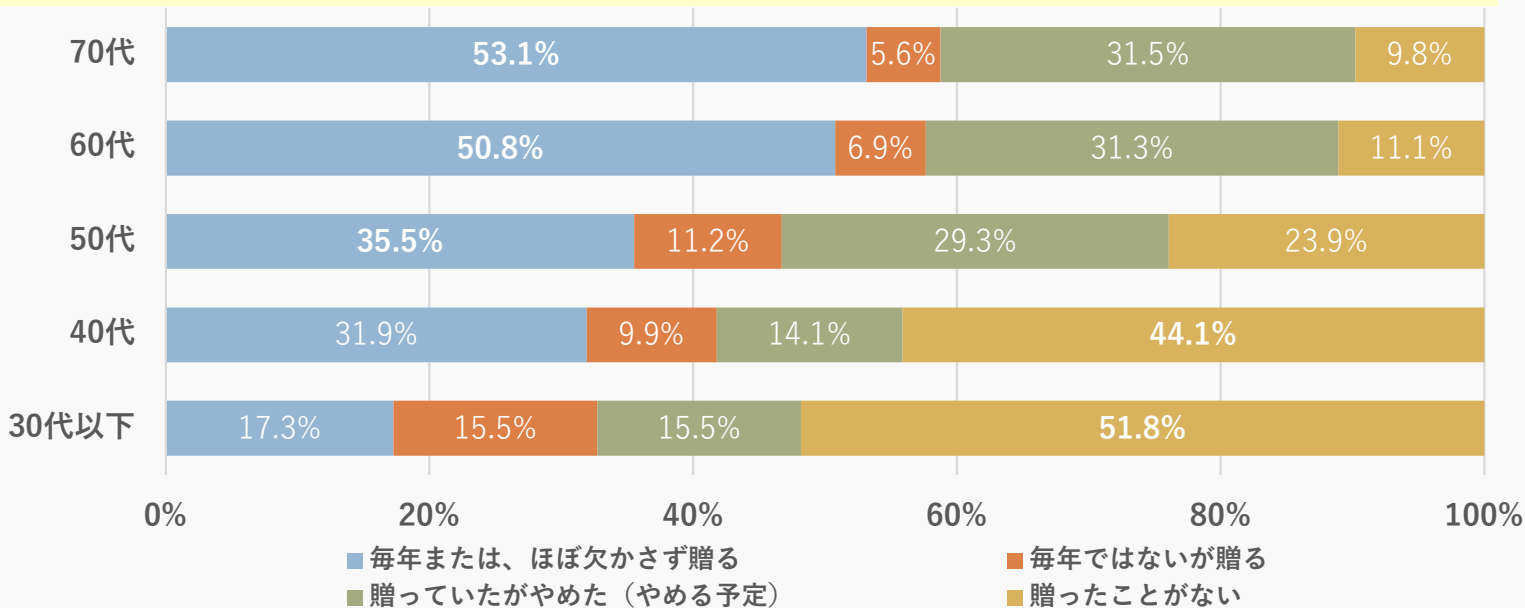
1位「家計簿で収支を把握・管理」2位「手数料をかけない(ATMなど)」3位「ポイント・クーポン活用で節約」。項目により年代で差があることも興味深い結果となりました。



7月プリアンケート「お中元・お歳暮」について

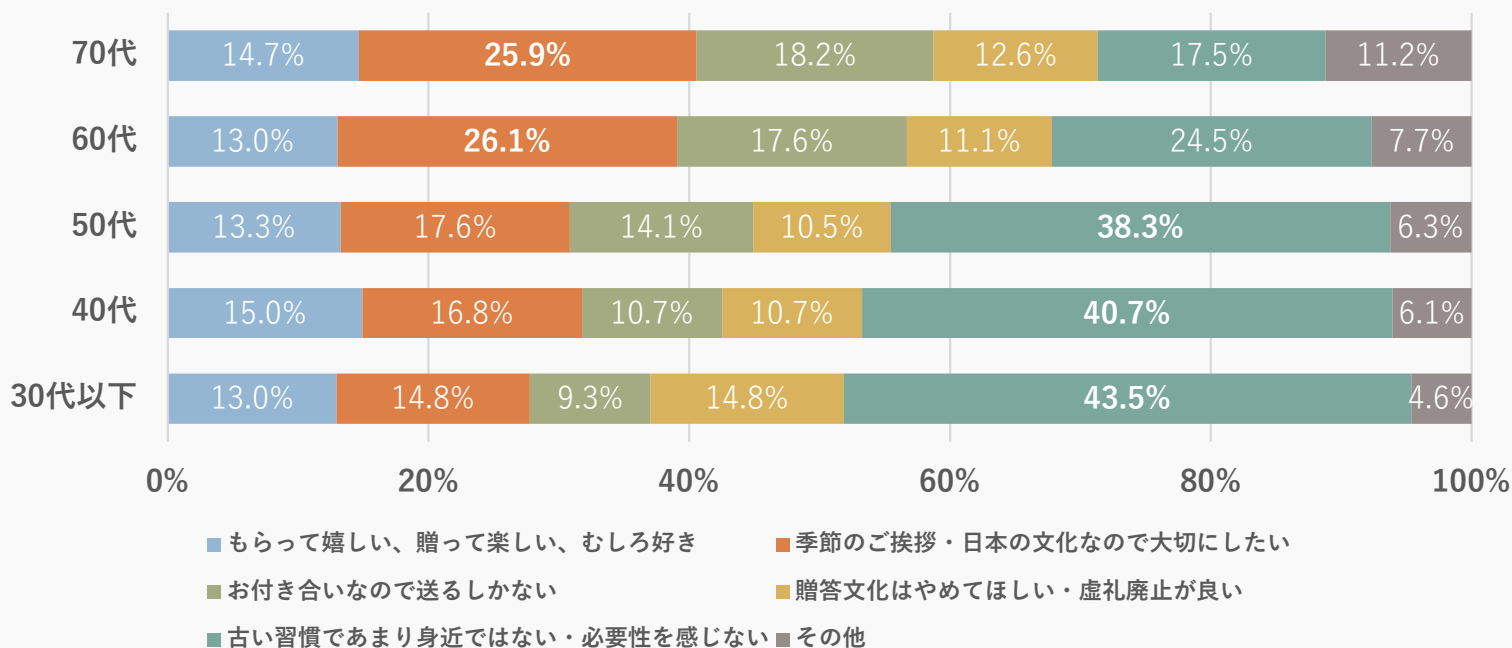
Q1 お中元やお歳暮を贈っていますか？

全体の約4割が「毎年または、ほぼ欠かさず贈る」でしたが、年代で差が大きく、30代以下は「贈ったことがない」が過半数を占めました。



Q2 お中元・お歳暮へのもっとも近いお気持ちは？

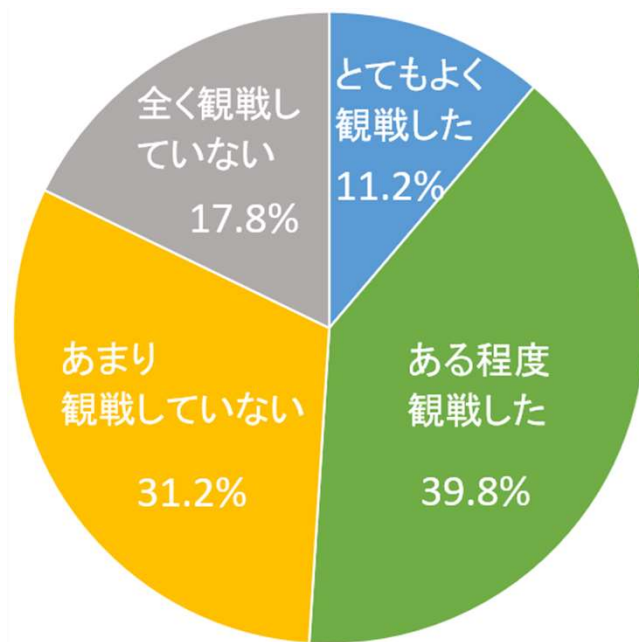
最も多い割合を占めたのは、50代以下で「古い習慣であり身近ではない・必要性を感じない」だったのに対し、60代以上は「季節のご挨拶・日本の文化なので大切にしたい」でした。



8月プチアンケート「パリオリンピック」について

Q1 パリオリンピックを 観戦（応援）しましたか？

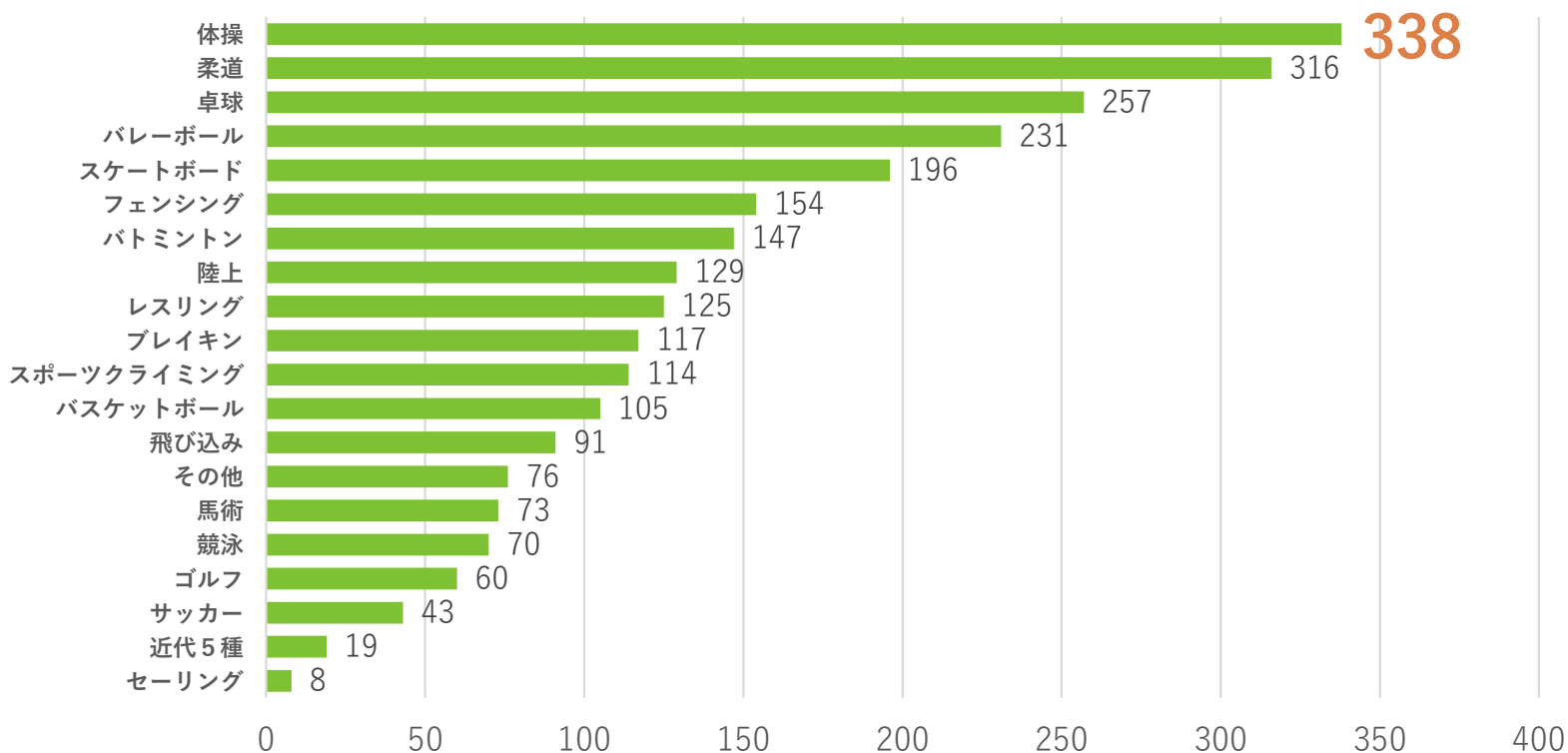
「ある程度観戦した」が約40%と最も多い結果でした。パリとの時差によりなかなか観戦できなかった方も多かったようです。関連して消費したものでは、「推し選手のユニフォーム」「炭酸水メーカー」「TV」「お菓子・お酒」などが上がりました。



Q2 特に印象に残った競技はどれでしたか？

1位「体操」、2位「柔道」3位「卓球」でした！

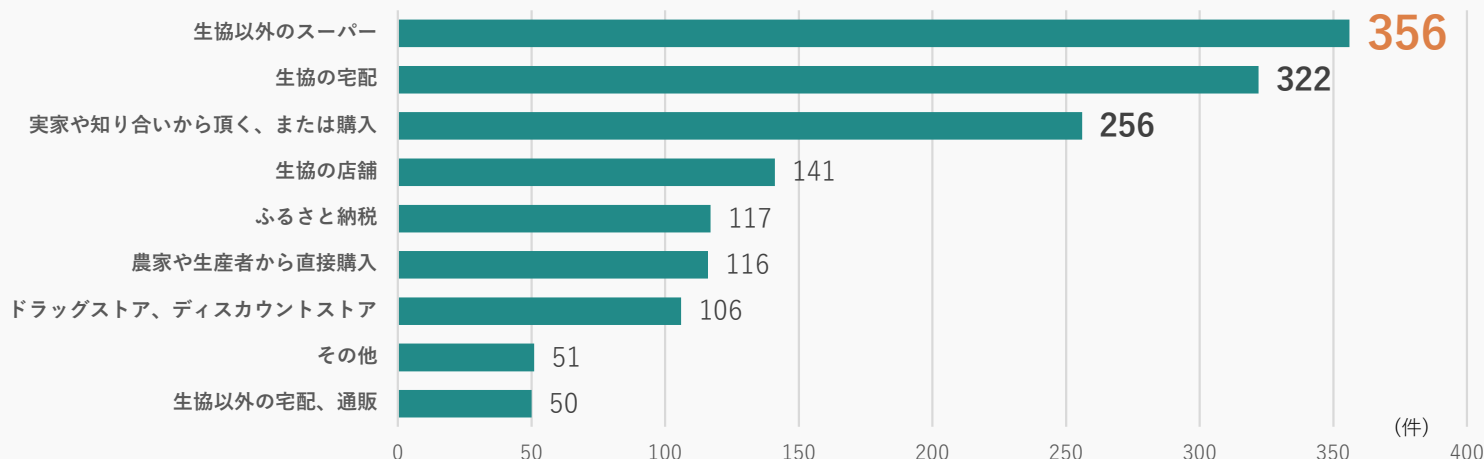
グラフを掲載できませんでしたが、年代別1位は、30代以下「スケートボード」、40代「柔道」、50～60代・70代以上共に「体操」という結果になりました。



9月プチアンケート「米」について

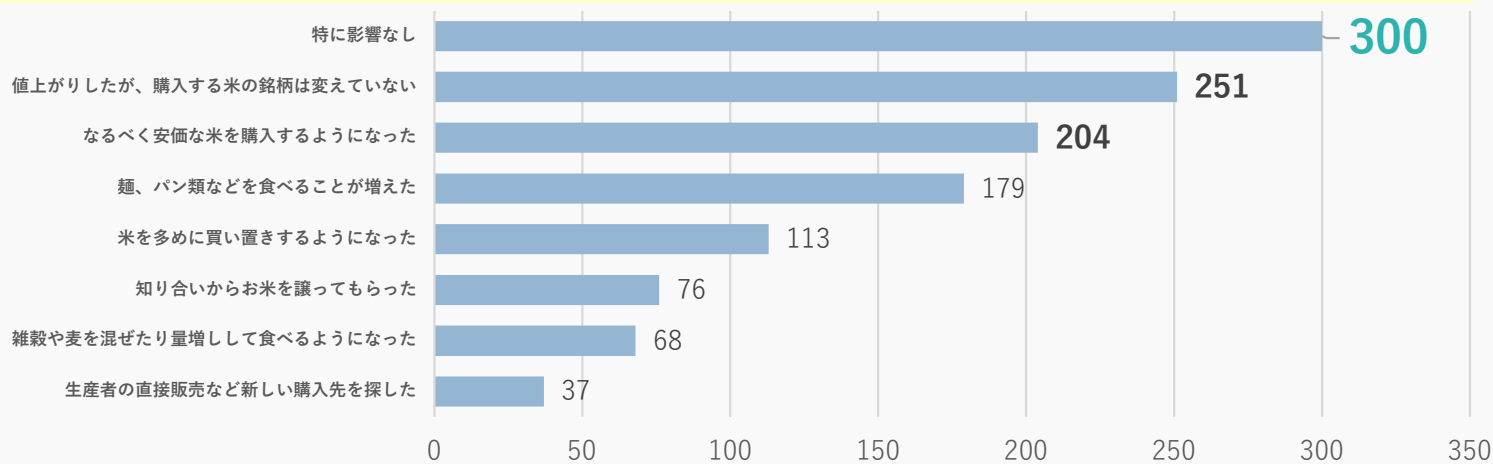
Q1 普段、お米をどこで手に入れていますか？

1位「生協以外のスーパー」、2位「生協の宅配」、3位「実家や知り合いから頂く、購入」という結果でした。



Q2 今年夏の米の値上がり、米不足による影響はありましたか？

1位「特に影響なし」、2位「米の銘柄は変えていない」、3位「安価な米を購入」でした。「特に影響なし」を選択した方は、農家から直購入、定期購入、作っている、ストックがあったという理由が主でした。



寄せられたコメント

選択肢がないので、高くても買うようになりました。

なかなか手に入らなかったもので、玄米と白米を1:3で炊いた後に、糸蒟蒻を炒めた物でかさ増しをして凌ぎました。

産直を利用始めて45年になります。米不足も関係なく年間予約してますので心配ありませんでした。

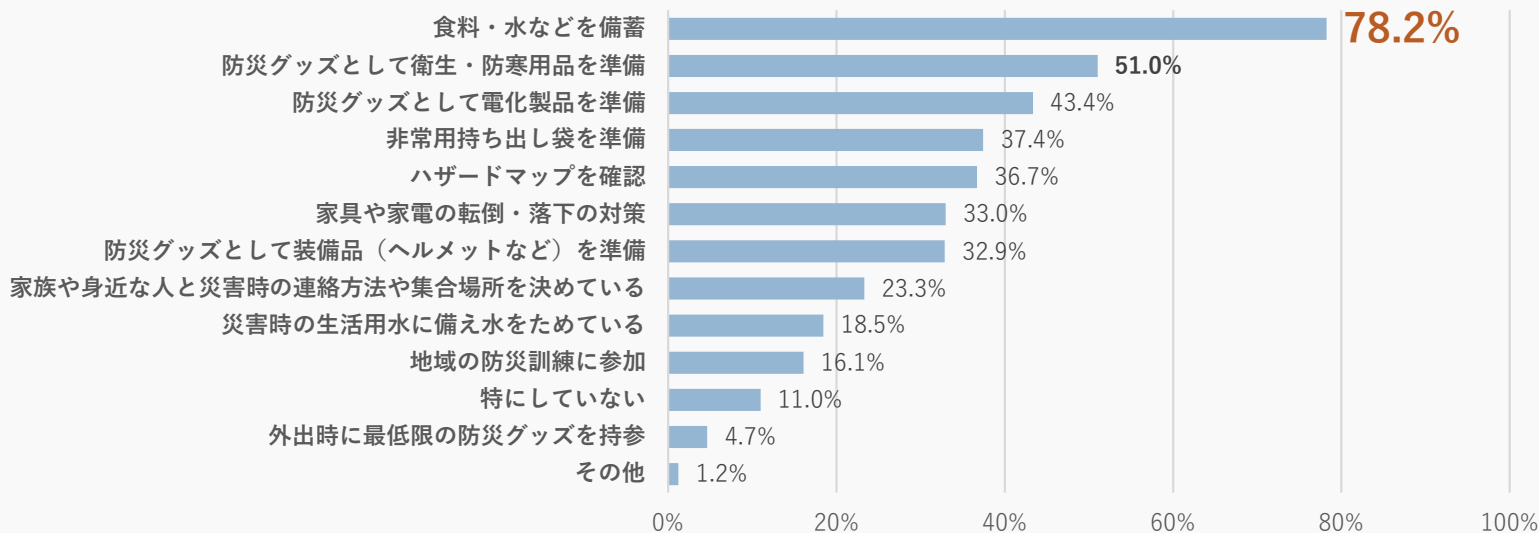
生産者から言えば、適正価格になったと思います。

値上がりしても、米農家さんの適正な収入に繋がれば、それはそれで正しい流れかと思います。適正な品質に適切な価格を決めてもらいたいです。

10月プリアンケート「防災」について

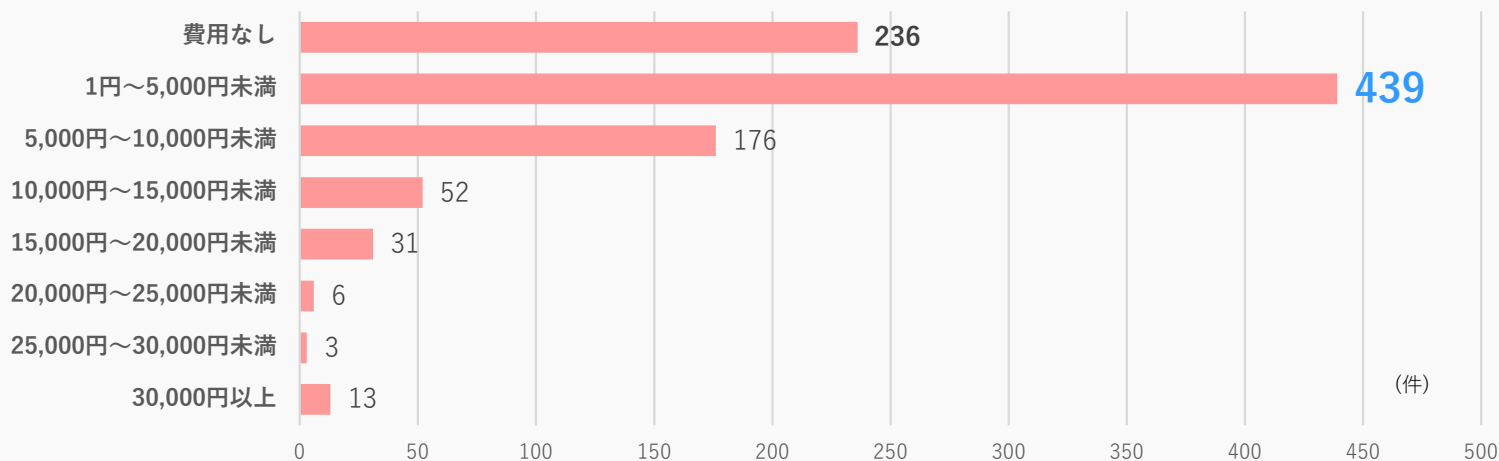
Q1 自然災害への備えはしていますか？

食料・水の備蓄は約8割、防災グッズ（衛生・防寒用品）は約5割が備えていました。
家族や身近な人との連絡方法や集合場所の確認は約2割と低い結果でした。



Q2 今年1年間で防災対策にかけた費用は？

1位「1～5,000円未満」2位「費用なし」、3位「5,000～10,000円未満」でした。



寄せられたコメント

能登の地震の際、家族で集合場所を確認したが、災害はいつ起きるかわからない。地下鉄に乗っていたら？旅先では？等不安が募る。スマホの充電を乾電池で出来る物を購入した。

ローリングストックしています。

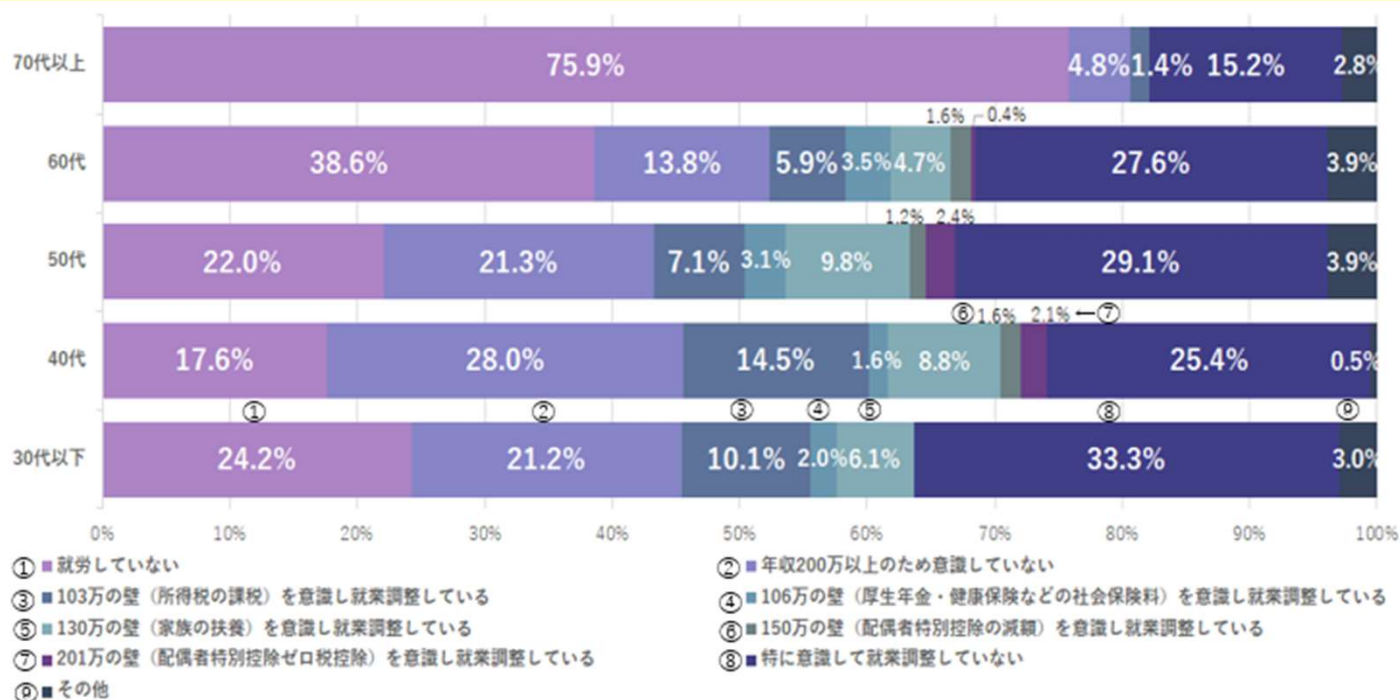
備蓄していると言っても、買って置いてあるだけ。非常時に速やかに取り出せるか、ちゃんと使えるかはかなり怪しい。

外出時には、おくすり手帳、投薬中のお薬5日分、飲み物、マスク、笛、小型の懐中電灯をバックに入れ持ち歩いています。

11月プリアンケート「年収の壁」について

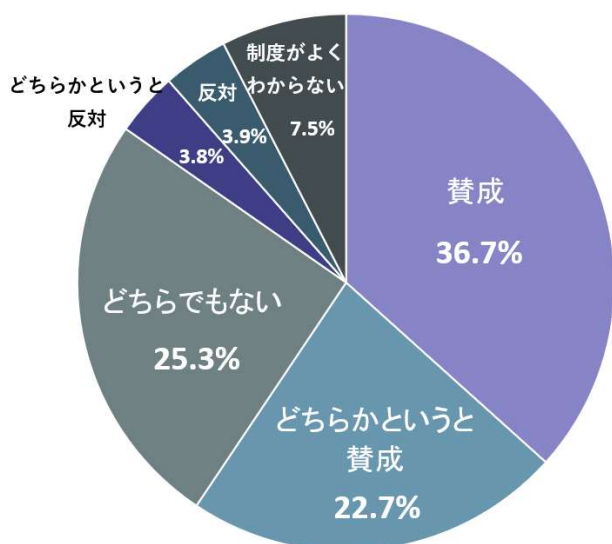
Q1 現在、年収の壁を意識して働いていますか？

103万～201万の年収の壁を意識して働いている方は、40代が28.5%と最も多く、次は50代の23.6%でした。
30代以下～50代では、就業調整していない方が半数を超える結果となりました。



Q2 103万の壁の引き上げに賛成ですか？

「賛成」「どちらかという賛成」が半数を超え59.4%、「反対」「どちらかという反対」は7.8%でした。



寄せられたコメント

勤めていた時に賢く税金を払わずに働けるように工夫している人に多く接しましたが、個人的には女性の足を引っ張っていると感じていました。

財政面で困窮する農村が生じるのではないかと懸念する。

学生は壁をなくしてくれると本当に助かると思う。

そもそも壁をすべて取り去るべし。人生100年時代、誰もが働き社会を支えるために収入分で課税や社会保険料を納めるべき

調整しなくて良くなれば、職場に迷惑かけずに働けるので助かります。

7. 集計表(総平均)

	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
給料(世帯主)	351,486	429,158	449,593	246,856	37,748
給料(世帯主の配偶者)	98,080	113,125	92,326	80,610	15,387
賞与(世帯主)	87,063	92,446	116,321	37,681	2,438
賞与(世帯主の配偶者)	18,733	21,759	15,625	6,966	2,343
年金(世帯主)	3,282	665	6,719	98,668	182,659
年金(世帯主の配偶者)	734	28	329	18,787	64,438
年金 私的(世帯主)	13	0	2,180	17,383	14,463
年金 私的(世帯主の配偶者)	0	138	352	6,491	7,374
その他の収入	44,815	34,361	30,964	44,134	53,152
収入 計	604,206	691,681	714,408	557,576	380,001
所得税(世帯主)	13,306	18,063	27,370	13,882	1,893
所得税(世帯主の配偶者)	3,094	2,752	2,502	974	668
住民税(世帯主)	12,826	19,059	22,773	14,249	4,518
住民税(世帯主の配偶者)	3,239	3,599	2,714	1,984	799
その他の税金	5,124	6,062	8,764	10,306	10,241
税金 計	37,589	49,535	64,124	41,395	18,118
健康保険(世帯主)	20,931	28,571	31,500	24,862	19,801
健康保険(世帯主の配偶者)	4,309	6,278	4,846	5,155	6,719
厚生年金(世帯主)	36,661	45,546	46,135	21,209	979
厚生年金(世帯主の配偶者)	8,105	9,557	7,591	5,320	721
雇用保険(世帯主)	2,169	2,554	2,820	1,260	132
雇用保険(世帯主の配偶者)	477	493	437	362	76
国民年金(世帯主)	833	908	767	88	157
国民年金(世帯主の配偶者)	300	707	620	969	0
国民年金(子)	0	1,100	2,465	495	1,334
社会保険料 計	73,785	95,713	97,181	59,721	29,919
生命保険	28,866	27,728	33,575	24,187	12,970
損害保険	5,215	6,125	6,169	7,299	6,280
個人年金ほか	8,656	11,753	11,667	5,900	1,921
私的保険料 計	42,737	45,606	51,411	37,386	21,170
食費	59,309	67,426	64,152	64,262	68,097
外食費	10,393	10,275	9,531	8,525	5,543
デリバリー・テイクアウト費	3,052	3,354	2,946	2,210	1,533
日用品費	17,308	14,928	12,177	10,027	8,779
住居費	74,157	69,568	50,467	27,160	11,685
住居費(上記以外)	9,718	10,251	21,090	30,216	22,723
住居費(計)	83,875	79,818	71,557	57,376	34,408
電気	10,877	11,067	10,625	9,964	9,704
ガス	3,995	4,272	4,741	4,609	4,287
水道	4,760	5,320	4,660	4,168	4,010
水・光熱費その他	1,018	1,222	982	1,471	1,040
水・光熱費(計)	20,649	21,882	21,007	20,212	19,041
趣味・娯楽費	22,142	22,728	28,201	35,040	34,223
交際費	10,647	9,057	14,454	20,628	26,284
衣服・美容費	12,780	16,509	16,852	16,851	10,777
保険医療費	11,415	11,383	11,691	16,164	13,734
通信費	12,840	16,113	19,230	17,143	13,765
教育費	30,869	77,816	54,593	9,945	1,021
自動車費	26,629	27,460	31,186	34,389	21,498
その他の消費支出	35,454	38,316	44,699	42,421	29,290
消費支出計	357,361	417,066	402,277	355,192	287,994

8. 調査票

co-op
日本生活協同組合連合会

家計・くらしの調査 ◆7月分◆

こちらは「家計・くらしの調査」の調査票のページです。
費目をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。
入力の締め切りは8月20日です。
※*は必須項目です。
※収入・支出が発生しなかった費目については「0」をご入力ください。
※入力に困った時は『マニュアル』、または『費目内容一覧』をご参照ください！
[○「家計・くらしの調査」マニュアル ←こちらをクリック](#)
[○「家計・くらしの調査」費目内容一覧 ←こちらをクリック](#)

収入		
給料	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
賃与	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
年金(公的)	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
年金(私的)	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
その他の収入*		円
収入計		0円

税金(直接税)		
所得税	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
住民税	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
その他の税金*		円
税金(直接税)計		0円

社会保険料		
健康保険 ※介護保険も含む	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
厚生年金	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
雇用保険	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
国民年金	世帯主*	円
	世帯主の配偶者*	円
	子*	円
社会保険料計		0円

私的保険料		
生命保険* ※定期保険、養老保険、終身保険、医療保険、がん保険、学資保険など		円
損害保険* ※CO・OP火災共済、火災保険、地震保険、自動車保険、旅行保険など		円
個人年金ほか*		円
私的保険料計		0円

消費支出		
食費*		円
※外食・デリバリー・テイクアウト費を除く、惣菜を含む		
外食費*		円
デリバリー・テイクアウト費*		円
日用品費*		円
住居費*	家賃・住宅ローン* ※管理費/修繕費(定額)含む	円
	上記以外* ※家具・家電、リフォームなど	円
水・光熱費*	電気*	円
	ガス*	円
	水道*	円
	その他*	円
趣味・娯楽費*		円
交際費*		円
衣服・美容費*		円
保健医療費*		円
通信費*		円
教育費*		円
自動車費*		円
その他の消費支出*		円
消費支出計		0円

◆貯蓄・投資に回した金額があれば教えてください。ない場合は「0」とご入力ください。

貯蓄・投資	
貯蓄・投資額* ※財形貯蓄、NISA、積み立てなど	円

今月の家計についてひとこと
1つの項目で100万円を超える大きな支出があった場合は、その用途を具体的にご記入願います。

月次報告書についてひとこと
月次報告書へのご意見・ご感想がございましたらご記入ください。 ※月次報告書とは…毎月回答頂いた結果をまとめた報告書 過去の報告書はこちら(家計調査の取り組み)

消費税しらべ(任意回答)	
◆こちらは「家計・くらしの調査」とは別の調査で、任意回答です。	
◆以下の方法で金額を算出し、「消費税額」の欄に記入してください。	
・消費支出から消費税が課税/非課税となる支出で分ける	
・消費税がかかる品目から、軽減税率対象の品目(A)と、非対象の品目(B)に分けて支出金額を集計	
・(Aの支出金額合計 ÷ 108) × 8 = Aの消費税額	
・(Bの支出金額合計 ÷ 110) × 10 = Bの消費税額	
・Aの消費税額 + Bの消費税額 = 消費税額	
※小数点は入力できないため、四捨五入して整数でご回答ください。	
※詳細は「手引き」の16ページを参照ください。	
◆「消費税しらべ」に12ヶ月連続でご協力いただいた方には、別途500円の図書カードをプレゼントいたします。	
消費税額	円

確認画面へ